湖北地域消防本部　旧米原消防署解体工事

図面リスト

Ｎｏ	図　面　名　称	SCALE	Ｎｏ	図　面　名　称	SCALE
Ｄ	【解体工事】				
０１	解体工事特記仕様書１	－	１１	事務所棟　参考図（２）	1/50、1/200
０２	解体工事特記仕様書２	－	１２	事務所棟　参考図（３）	1/30
０３	現況配置図	1/250	１３	事務所棟　参考図（４）	1/30
０４	改修配置図	1/250	１４	車庫棟１　参考図（１）	1/50、1/150
０５	屋外現況物リスト、樹木リスト	－	１５	車庫棟１　参考図（２）	1/100
０６	解体建物【消防庁舎・車庫】　平面図、立面図、断面図	1/200	１６	車庫棟１　参考図（３）	1/100
０７	解体建物【訓練塔他】　平面図、立面図、断面図	1/200	１７	車庫棟１　参考図（４）	1/100
０８	解体建物　仕上表（１）	－	１８	車庫棟１　参考図（５）	1/10、1/50
０９	解体建物　仕上表（２）	－	１９	車庫棟１　参考図（６）	－
１０	事務所棟　参考図（１）	1/200			

解 体 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ 工事概要

工 事 名 称	湖北地域消防本部　旧米原消防署解体工事
工 事 場 所	米原市長岡２８１１番地１　　敷地面積　：8,997.00 ㎡　（市有地）
用 途 規 制	第１種低層　第２種低層　第１種中高層　第２種中高層　第１種住居　第２種住居 準住居　近隣商業　商業　準工業　工業　工業専用　指定なし
防 火 規 制	防火地域　準防火地域　法22条指定区域　指定なし
その他の規制	風致地区　自然公園　宅造規制区域　市街化区域　市街化調整区域　景観計画区域 産 業 地 区
工事期間・限工事種目	１３５日間

No	名 称	工 種	構 造	床 面 積（㎡） B１階	1 階	2 階	3 階	4 階	PH階	延面積	備 考
	事務所棟・車庫棟	解体工事	S造	—	954.42	347.51	—	—	—	1,301.93	
	車庫兼警防訓練棟	解体工事	S造	—	112.81	—	—	—	—	112.81	
	訓練塔(主塔・副塔)	解体工事	S造							26.65	
	計									1,441.39	

概 要 説 明　本工事は、湖北地域消防本部　旧米原消防署の敷地内、消防庁舎、車庫兼警防訓練棟、訓練塔（主塔、副塔）その他付属工作物の解体工事及び電気設備、機械設備の撤去、並びに外構の整備を行う。

Ⅱ 建築工事仕様

1．共 通 仕 様

（１）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書 令和４年版」（以下「解体共通仕様書」という）による。
ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書 令和４年版」（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築改修工事標準仕様書 令和４年版」（以下「改修標準仕様書」という）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特 記 仕 様

（１）項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
（３）特記事項に記載の［ . . ］内表示番号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（４）特記事項に記載の＜ . . ＞内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（５）特記事項に記載の（ . . ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目 特記事項

① 一般共通事項

① 施工基準
本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、質問回答書、現場説明書、本特記仕様書を含む図面、標仕及び改修標仕により完全に施工する。
上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。 [1.1.1]

② 工事実績情報の登録（CORINS）
請負金額が500万円以上の場合は、契約(変更)、完成時のそれぞれ10日以内に登録すること。 [1.1.4]

③ 施工体制
受注者等は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。
また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。 [1.3.1]

4 技術管理
受注者等は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。 (1.3.2)

5 施工条件
次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。 [1.3.5]

工程・作業	指定日時

⑥ 地元説明会
受注者等は、施工に先立ち地元自治会、近隣住人等に工事施工内容の説明を行うこと。 [1.3.6]

7 近隣家屋の調査
受注者等は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋調査（内部及び外部）を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。また、受注者が自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。 [1.3.6]

8 総括安全衛生管理義務者
労働安全衛生法第３０条第２項の総括安全衛生管理義務者を選任する。 [1.3.6]

⑨ 安全対策
各種関係法令に基づき、常に工事の安全に留意し、施工に伴う災害及び事故の防止に努め、施工の各段階において、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺の環境保全を図り工事全般の対策を講ずること。
また、施設運営にも担当者と協議を行い支障のないよう努めること。 [1.3.6~8]

⑩ 公害対策
工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。 [1.3.9]

⑪ 発生材の処理等
※構外搬出適切処理　・指定（　　） [1.3.10]

12 技能士 [1.6.2]

適用工事種別	作業種別
仮設工事	・ とび
防水工事	・ アスファルト防水　・ 改質アスファルトシートトーチ工法 ・ アクリルゴム系塗膜防水　・ ウレタンゴム系塗膜防水 ・ 塩化ビニル系シート防水　・ 合成ゴム系シート防水 ・ セメント系防水　・ FRP防水　・ シーリング防水
タイル工事	・ タイル張り
木工事	・ 大工
屋根及びとい工事	・ 内外装板金　・ スレート工事
金属工事	・ 鋼製下地　・ 内外装板金
左官工事	・ 左官
塗装工事	・ 建築塗装
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ　・ カーペット系床仕上げ　・ ボード仕上げ　・ 壁装

13 一工程報告
一工程施工報告書の提出　・ 不要
・ 解体　・ 防水改修　・ 外壁改修　・ 耐震改修
・ 各工程毎 [1.6.3]

14 取扱説明書の作成
竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。
（部数、詳細については、監督職員の指示による。）

⑮ 現場代理人等
イ「米原市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。
ロ　現場代理人は、受注者等との直接的な雇用関係を証するもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。
ハ　主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。
ニ　現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。 (1.7.3)

⑯ 工事写真

区 分	撮影箇所	提出部数	備 考
着工前、完成	・3　※6　・15　・30	3	同じ位置で撮影すること。
工事中		1	必要に応じ撮影する
定期提出	代表的な出来高の部分	1	工事月報用

工事写真の撮影要領は、「工事写真撮影ガイドブック・建築工事編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。

17 竣工写真
竣工写真はキャビネ版カラープリントによる写真を製本し、また、画像データを電子媒体で各１部提出すること。

⑱ 下請業者等の選定
各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。

⑲ 保険等
受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事目的物に付けるとともに、第三者等への損害についても補償する保険に加入すること。
また、本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

20 設計図の製本
工事着手前に製本を作成し、監督職員に提出のこと。　A3サイズ　部数

㉑ 軽微な変更
設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、請負金額の増減対象としない。

㉒ 不当介入に関する通報制度
1. 受注者等は暴力団員等による不当介入(不当な要求又は業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
2. 受注者等は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により、監督職員に報告するものとする。また、受注者等は、以下のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。
3. 受注者等は暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

23 特殊な材料の工法
標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

24 各種検査を必要とするもの
各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各会格書又は保証書およびその写し各１部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。

25 シンナー等の保管
シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。

㉖ 火気の管理
喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。

㉗ 過積載防止の措置
受注者等は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。

㉘ 騒音振動の防止
受注者等は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された建設機械（「97ラベル」）を使用すること。

29 設計ＧＬ
・ 図示　・ 監督職員が現場にて決定する。

㉚ 不法無線局の排除
受注者等は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。

31 別途工事との連絡協議
受注者等は、別途施工する電気・機械設備工事の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。

㉜ 申請等
本工事における官公庁の各検査および完了にかかる消防法等、すべての法的検査は受注者等にて行うものとする。また、その費用（手数料共）は一切受注負担とする。

㉝ 米原市週休2日取組指定工事の実施
本工事は、発注者が工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完了日（工事請負契約の履行した通知である工事完了届書を提出した日）までのうち、非対象期間を除いた期間において４週８休以上の現場閉所に取り組むことを指定する週休２日取組指定型工事である。費用の計上等の運用にあたっては、「米原市週休２日取組指定型工事実施要領(建築系工事版)」により行う。
※ 適用する　・ 適用しない

② 解体工事

① 解体工事に関する特記事項
※　指定する範囲の解体建物(解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む)、工作物、樹木等は特記なき限り、地盤面下も含め全て解体撤去すること。
廃材の処分場所については受注者において選定し、事前に監督員に報告すると共に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき契約を締結のこと。(地盤面下は捨てｺﾝｸﾘｰﾄを含むものとし、根切り土は埋戻しとする。)
解体材を敷地内において焼却したり埋設することは一切認めない。
また、ガラス破片を残さないよう、特に注意すること。
※　工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要ある時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。
※　解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、受注者の責任において現況に復旧すること。また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合も受注者の責任において現状に復旧すること。
※　工事中は適時散水を行い、粉塵の飛散防止に努めること。
※　解体撤去後の敷地は、特記なき限り根切土・現状土にて敷きならし、整地すること。
※　吹付アスベスト、アスベスト成形板ほか石綿含有材については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。
※　解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスベスト含有の有無を確認し、含有する建材等があった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。
※　存置物のうち、エアコン・洗濯機・テレビ・冷蔵庫は、家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に基き処理すること。なお、エアコンについてはフロンガスの回収を的確に行うこと。
また、フロンガスの回収にあたっては総量報告書を提出すること。
※　解体に先立ち、ＰＣＢを使用した照明器具の有無を調査し、その結果を報告すること。
また、ＰＣＢを使用した器具については、監督員の指示に従い指定された場所に搬出し、諸法令に基づき適正に保管処理をする事。
※　地下埋設物（排水管、ガス管等）は、特記を除き監督員の指示によりプラグ止め等の処理を行い、原則としてすべて撤去すること。
なお、ＮＴＴ配線及び引込み配線メーター等の撤去、給水管、汚水排水管、ガス管・高圧ガス等の切り離し撤去に伴う申請については、各関係機関と協議の上、申請業務および必要な諸費用を含め本工事とする。

② 解体工法
※　解体工法は，低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ，防音シートや散水等により騒音振動の減少、粉塵の防止に努めること。
※　解体方法及び手順は，「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第２条）」による。

③ 施工計画書等
工程表・施工計画書・仮設計画書等は，工事契約後速やかに監督職員に提出し，承諾を得ること。
[1.2.1, 2]

④ 杭
杭の解体
⊙ 行う　・ 行わない（杭の位置、大きさ等を記録し、監督職員に報告書を提出すること）
杭の解体工法
⊙ 引き抜き工法　（・ 振動　・ ケーシング　・　　）
・ 砕砕による解体 [3.9.2]

⑤ 樹木等
樹木の伐採伐根及び移植
⊙ 行う　（ 図示　による ） [3.11.1]

⑥ 地下埋設物の埋設配管
地下埋設物及び埋設配管の解体
⊙ 行う [3.12.1]

⑦ 解体後の整地
解体後の埋戻し及び盛り土
⊙ 行う [3.13.1]
埋戻し及び盛土の材料
⊙ Ａ種(不足分)　※ Ｂ 種　・ Ｃ 種　・ Ｄ 種 (3.2.3)(表3.2.1)
Ｃ種の場合
建設発生土受入れ量　m3
発生場所
受入条件
・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を使用する埋戻し範囲
・ 図示による
整地の高さ　⊙ 現状ＧＬ
・ 図示（　／　図による）

⑧ 付属設備等の撤去
※　工事区域内の地中埋設配管（給水、排水、ガス等）については、特記を除き監督員の指示によりプラグ止め等の処理を上全て撤去とする。
※　給水管、汚水排水管、ガス管、オイルタンク、便槽等の撤去についても申請業務を含め本工事とする。
※　図面及び床面積は概略を示すものである。工事着工前に調査を行い現場の状況を把握すること。

⑨ 建築物の除却届けの提出
※　着工に先立ち、建築基準法第１５条第１項の規定による建築物除却届を所轄官庁に提出すること。

⑩ 解体工事の届出書の提出
（１）建設リサイクル法第１０条の規定による届出書を作成し、監督員に提出すること。
（２）建設リサイクル法第１２条の規定による書面交付し、監督員に説明すること。
（３）(１)項の届出の事項（変更がある場合は、変更後の内容）について、下請け業者に周知徹底すること。

⑪ 再資源化等完了の報告と記録
受注者は、建設リサイクル法第１８条の規定に従い、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは監督員に書面で報告するとともに、再資源化等の実施状況に関して記録を作成し、保存すること。

⑫ 発生材の処理等
⊙ 産業廃棄物の処理
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、マニフェストシステムにより的確に実施することとし、事前に監督員に施工計画書を提出し承諾を受けること。
産業廃棄物の収集運搬車に係る標示および書面の備え付けを行うこと。また、運搬車両毎に写真撮影を行い提出すること。（自己で運搬する場合も含む）
⊙ 再生資源利用計画等の提出
「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）および「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守し、再生資源利用（促進）計画書および同実施書を作成すること。
⊙ 建設リサイクル法
本工事に使用する特定建設資材および排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）を遵守し、分別解体および再資源化等を実施すること。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づいて書面により報告すること。

13 近隣家屋の調査
受注者は、工事の着手前および完了後に、隣地の近隣家屋・工作物等の調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は受注者の責任において現状に復旧すること。
また、受注者自ら必要と思われる近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。

⑭ そ の 他
※　重機搬入及び廃材搬出時においては誘導員を要所に配し、近隣住民、交通に充分注意のこと。
※　解体工法については、敷地状況・周辺状況に十分配慮し、適切な工法を採用すること。
油圧破砕機、消音装置付低騒音ジャイアントブレーカー、コンプレッサー等を計画的に使用し、振動、騒音防止に留意すること。
※　解体建物内に残置されている備品、物品は本工事にて撤去処分すること。
※　ノッチタンク等を設置し、濁水を側溝、河川に直接放流させな措置を行うこと。

③ 仮設工事

① 騒音・粉塵等の対策
⊙ 設ける　・ 設けない
（・ 防音パネル　⊙ 防音シート　・ 養生シート　・その他） <2.2.1>

② 足場等
足場　⊙ 設ける　・ 設けない
・ 種別、位置、高さ、延長は図示による。
⊙ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。
仮囲い　⊙ 設ける　・ 設けない <2.2.2>
・ 種別、位置、高さ、延長は図示による。
⊙ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。
工事車両出入口　⊙ 設ける　・ 設けない
・ 種別、位置、高さ、延長は図示による。
⊙ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。

3 監督員事務所
・ 設ける　・ 設けない <2.3.1>
（　㎡程度　会議テーブル、イス、ホワイトボード、エアコン）

4 山留め
・ 設ける　・ 設けない <2.4.1>
・ 種別、位置、高さ、延長は図示による。
・ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。

⑤ 工事用水
⊙ 利用できない　・ 利用できる（ ・ 有償　・ 無償 ）

⑥ 工事用電力
⊙ 利用できない　・ 利用できる（ ・ 有償　・ 無償 ）

⑦ 交通誘導員
⊙ 設ける　・ 設けない
（・ 常時　⊙ 工事車両の往来がある場合　・ 図示 ）

8 水替作業
水質汚濁防止法及び関係条例等に従い、敷地外に排水すること。
必要に応じ現場内にノッチタンクの設置及び側溝に土嚢を設置し泥水の流出対策を行うこと。

9 洗車場
・ 設ける　・ 設けない
・ 図示による。
・ 仮設計画を立案し、監督員と協議して決定する。

⑩ その他
・ 敷地外に汚泥、濁水等を流布しないよう十分な対策を講ずること。

④ 建設廃棄物の処理

① 再資源化施設等
建設廃棄物に応じた中間処理施設及び再資源化施設は、任意とするが、極力近隣の施設を選定し、監督職員の承諾を得ること。 [4.4.1]

② 再資源化等
建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物のほか、出来る限りの廃棄物を再資源化するように努めること。 [4.4.1]

3 現場内再資源化
建設廃棄物を再資源化し、現場で利用する物 [4.4.1]

種　類	利用する場所(箇所)等

4 産業廃棄物広域認定制度
・ 活用しない　・ 活用する（種類：　所在地等：　） [4.4.2]

⑤ 最終処分施設
建設廃棄物に応じた最終処分施設は、任意とするが、極力近隣の施設を選定し、監督職員の承諾を得ること。 [4.4.3]

⑥ 処分に注意を要する建設廃棄物
※　共通仕様書による　・ 該当しない
分別解体作業時に該当建材があった場合は、監督職員に現状を報告すること。 [4.5.1]

⑤ 特別管理産業廃棄物の処理

① 特別管理産業廃棄物の処理等 [5.4.1]

材 料 名	分析調査	備考
ＰＣＢ含有機器類	⊙ 行う　・ 行わない	照明器具、キュービクルについて、PCB含有の有無を調査し監督職員に報告すること
ＰＣＢ含有シーリング材		
廃油		
廃酸・廃アルカリ		
ダイオキシン類		

上記廃棄物処理の処理方法
※　共通仕様書による　・ 図示による

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. D－01
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名　解体工事特記仕様書１	縮尺 A1：— A3：—

⑥ アスベスト含有建材の除去

①一 般 事 項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)、大気汚染防止法（環境省）を遵守すること。

●石綿含有建材の事前調査
・特記ある建築建材については、大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、
その他石綿処理に関する諸法令等に基づき事前調査を実施すること。
・石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規定する建築物石綿含有建材調査者等、
一定の知見を有する者が実施するように努めること。
・事前調査結果は書面で発注者に説明すること。
・事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。

●設計時の調査、分析結果

アスベスト含有塗材・吹付材等

No.	建物名称	階数	室名	使用箇所	仕様書種別	材料	定性試験結果
1	事務所棟	1階	廊下１	巾木	仕上	ソフト巾木	不検出
2	〃	〃	〃	〃	仕上	ソフト巾木接着剤	不検出
3	〃	1階	ホール	天井	吹付	内装吹付け材	不検出
4	〃	1階	受付	天井	仕上	岩綿吸音板	不検出
5	〃	2階	事務所	床	仕上	長尺塩ビシート	不検出
6	〃	〃	〃	〃	仕上	長尺塩ビシート接着剤	不検出
7	〃	2階	書庫	床	仕上	Ｐタイル	検　出
8	〃	〃	〃	〃	仕上	Ｐタイル接着剤	不検出
9	〃	2階	湯沸室	天井	仕上	ケイカル板	検　出
10	〃	1階	食堂	壁	吹付	ゾラコート吹付	不検出
11	車庫棟1	—	—	外壁	仕上	押出成形板	検　出
12	〃	1階	車庫	壁	吹付	複層塗材E吹付	不検出
13	〃	1階	車庫	壁	吹付	外装薄塗材E吹付	不検出
14	車庫棟2	—	—	外壁	吹付	吹付タイル	不検出
15	車庫棟1	1階	車庫	巾木	仕上	モルタル補修	検　出
16	〃	1階	防火衣ロッカー室	壁	仕上	フレキシブルボード	不検出
17	訓練塔　主塔	—	—	外壁	仕上	ケイカル板	検　出
18	事務所棟	—	—	外壁	吹付	吹付タイル	不検出
19	〃	1階	更衣室	天井裏	被覆材	鉄骨被覆材	不検出
20		1階	書庫	外壁	吹付	吹付タイル	不検出
21		1階	書庫	天井裏	被覆材	鉄骨被覆材	不検出
22	車庫棟	1階	車庫	天井	断熱材	屋根ペフ	不検出
23	車庫棟	—	—	外壁	吹付	外装吹付け材	不検出
24	事務所棟	屋上	煙突	外壁	吹付	リシン吹付け	不検出
25	訓練塔　主塔	—	—	外壁	吹付	リシン吹付け	検　出

②除去工事共通事項

専門工事業者　[6.2.1]<9.1.2(1)>
アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを
証明する書類を監督員に提出する。

石綿作業主任者　[6.2.2]<9.1.2(2)>
石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したもの
の中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

除去作業者　[6.2.3]<9.1.2(3)>
作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けたものとする。
また、一般健康診断、じん肺健康診断を受診したものとし、肺機能に異常のないものとする。

特別管理産業廃棄物管理責任者　[6.2.4]<9.1.2(4)>
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。
ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。

施工区画への関係者以外の立入禁止　[6.2.5]<9.1.2(5)>
作業場、廃棄物保管場所、資機材置場等、除去工事に直接又は間接的に関係する箇所は、
関係者以外の立入りを禁止する。

表示及び掲示　[6.2.6]<9.1.2(6)>
見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。
※　アスベスト作業主任者名と職務内容
※　関係者以外立入禁止
※　喫煙・飲食の禁止
※　「アスベスト除去作業中」の表示
※　アスベストの有害性
※　取り扱い上の注意事項
※　使用すべき保護具
周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。
※「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散
抑制装置、曝露防止措置等）」
※　事前調査結果

石綿を保管する容器等への表示　[6.2.7]<9.1.2(7)>
石綿則に基づき、運搬又は保管する場合の容器等に石綿であること及び取扱い上の
の注意事項を表示する。

保護具、保護衣　[6.2.8][6.2.9]<9.1.2(8)(9)>
作業者は、石綿則に基づき、作業内容に応じ、作業に適した呼吸用保護具を使用する。
作業者は、半面形の呼吸用保護具を使用する場合は、必要に応じて、保護めがねを併用する。
作業者は、石綿則に基づき、保護衣又は作業衣を使用する。
保護衣は、JIS T 8115(化学防護服)の浮遊固体粉じん防護用密閉服(タイプ５)同等品以上のものとし、
使い捨てとする。
作業衣は、粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくいものとする。

除去したアスベスト含有物の保管、運搬等　[6.3.3]<9.1.3(3)>
※　他の内装材、廃棄物等と分別保管
※　保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形版を運搬する場合は、運搬車輌の
荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
※　アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。

③アスベスト含有吹付け材の除去

作業場の隔離等
石綿含有吹付け材の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を必要としない壁、床、
機器等への汚染防止のため、石綿則及び大気汚染防止法に基づき、解体共通仕様書[6.3.1]による、
負圧隔離養生を行う。

除去工法　[6.3.2]<9.1.3(2)>
※　解体共通仕様書[6.3.2]による湿式工法
⊙　ディスクグラインダー工法（工法Ｄ）
⊙　手工具ケレン工法（工法Ｅ）
除去工法ついては、原則（一財）日本建築センター、（一財）建築保全センターの技術審査を
取得した工法によるものとし、専門業者の責任施工とする。

除去物及び汚染物等の処理　[6.3.2]<9.1.3(2)>
※　密封処理（二重袋梱包）
・　セメント固化

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタ等、
汚染物等の処理　[6.3.2]<9.1.3(2)>
※　密封処理（二重袋梱包）

除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等
※　除去したアスベスト等の保管、運搬、処分は解体共通仕様書[6.3.3]<9.1.3(3)>による。

確認及び後片付け
※　除去作業が終了後、確認及び後片付けは解体共通仕様書[6.3.4]<9.1.3(4)>による。
※　確認は受注者としての確認を事前に行い、監督職員に報告すること。

石綿粉じん濃度測定
（表A）測定点　測定時期、場所及び測定箇所数

測　定　時　期	測定名称	測　定　場　所	測定個所数	計
処理作業前	測定１	処理作業室内	各２点又は３点以上 ※2	※1
	測定２	調査対象室外部の付近	計　２　点	
処理作業中 ※3	測定３	処理作業室内	各２点又は３点以上 ※2	※1
	測定４	セキュリティゾーン入口	計　２　点	
	測定５	集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 各　２　点	
	測定６	処理作業室外・施工区画周辺・敷地境界	４方向各１点	
処理作業後（シート養生中）	測定７	処理作業室内	各２点又は３点以上 ※2	※1
処理作業後シート撤去後1週間以降	測定８	処理作業室内	各２点又は３点以上 ※2	※1
	測定９	調査対象室外部の付近	計　２　点	

※１　各施行箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
※２　除去作業期間中は６日ごとに１回測定すること

測定方法
JIS K3850-1「空気中の繊維状粒子測定方法」
又は、環境省「アスベストモニタリングマニュアル」に準ずるものとする。

⑤アスベスト含有成形板等の除去（ｹｲｶﾙ板・石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）（塩ﾋﾞｼｰﾄほか）

石綿含有成形板等の除去は、石綿則及び大気汚染防止法に基づき、原形のまま、手ばらしで行う。

養生　[6.5.1]<9.1.5(1)>
※　作業場は、シート等により囲うこと。

除去工法　[6.5.2]<9.1.5(2)>
※　作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※　やむを得ず破壊しなければならない場合には、隔離し、十分に湿潤化した状態で行うこと。
※　除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板に
ついては、湿潤化の上、丈夫な二重のプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等
※　除去したアスベスト等の保管、運搬、処分は解体共通仕様書[6.5.3]による。

確認及び後片付け
※　除去作業が終了後、確認及び後片付けは解体共通仕様書[6.5.4]による。
※　確認は受注者としての確認を事前に行い、監督職員に報告すること。

⑥アスベスト含有仕上塗材の除去（外壁塗材）

作業場の隔離等　[6.6.1]<9.1.6(1)>
作業場から外部への石綿の飛散防止のため養生シート等で作業場所の隔離養生（負圧不要）を行う。

除去工法　[6.6.2]<9.1.6(2)>
※　解体共通仕様書[6.6.3]による湿式工法
⊙　ウォータージェット工法（工法Ｂ）
⊙　はく離剤併用手工具ケレン工法（工法Ｃ）
除去工法ついては、原則（一財）日本建築センター、（一財）建築保全センターの技術審査を
取得した工法によるものとし、専門業者の責任施工とする。

除去物及び汚染物等の処理　[6.6.4]<9.1.6(4)>
※　密封処理（二重袋梱包）
・　セメント固化
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタ等、

汚染物等の処理　[6.3.2]<9.1.3(2)>
※　密封処理（二重袋梱包）

除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等
※　除去したアスベスト等の保管、運搬、処分は解体共通仕様書[6.5.3]<9.1.5(3)>による。

確認及び後片付け
※　除去作業が終了後、確認及び後片付けは解体共通仕様書[6.5.4]<9.1.5(4)>による。
※　確認は受注者としての確認を事前に行い、監督職員に報告すること。

石綿粉じん濃度測定
（表A）測定点　測定時期、場所及び測定箇所数　による。

⑦アスベスト含有断熱材の除去（煙突）

作業場の隔離等
石綿含有吹付け材の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を必要としない壁、床、
機器等への汚染防止のため、石綿則及び大気汚染防止法に基づき、解体共通仕様書[6.3.1]による、
負圧隔離養生を行う。

除去工法
⊙　ウォータージェット工法（工法Ａ）
除去工法ついては、原則（一財）日本建築センター、（一財）建築保全センターの技術審査を
取得した工法によるものとし、専門業者の責任施工とする。

除去物及び汚染物等の処理　[6.3.2]<9.1.3(2)>
※　密封処理（二重袋梱包）
・　セメント固化

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタ等、
汚染物等の処理　[6.3.2]<9.1.3(2)>
※　密封処理（二重袋梱包）

除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等
※　除去したアスベスト等の保管、運搬、処分は解体共通仕様書[6.3.3]<9.1.3(3)>による。

確認及び後片付け
※　除去作業が終了後、確認及び後片付けは解体共通仕様書[6.3.4]<9.1.3(4)>による。
※　確認は受注者としての確認を事前に行い、監督職員に報告すること。

石綿粉じん濃度測定
（表A）測定点　測定時期、場所及び測定箇所数　による。

⑦ 特殊な建設副産物の処理等

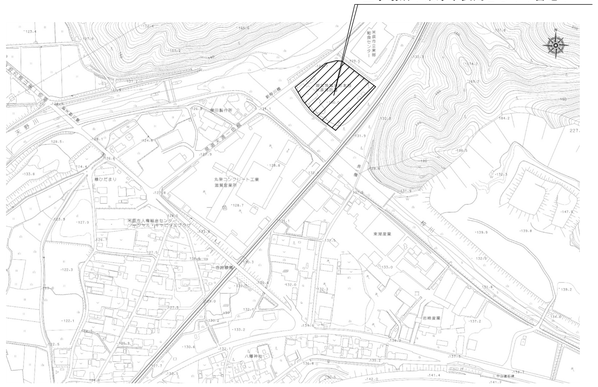
①特殊な建設副産物の処理等

[7.3.1]

種類		回収及び処分	備考
特定物質	⊙ フロン（冷媒）	※　回収　・　処分	
	⊙ フロン（建設用断熱材）	・　回収　※　処分	
	⊙ ハロン	※　回収　・　処分	
イオン化式感知器		※　回収　・　処分	
六ふっ化硫黄ガス		※　回収　・　処分	
ＰＦＯＳ		※　回収　・　処分	
特定化学物質等		※　回収　・　処分	

※　回収及び処分方法は共通仕様書による。

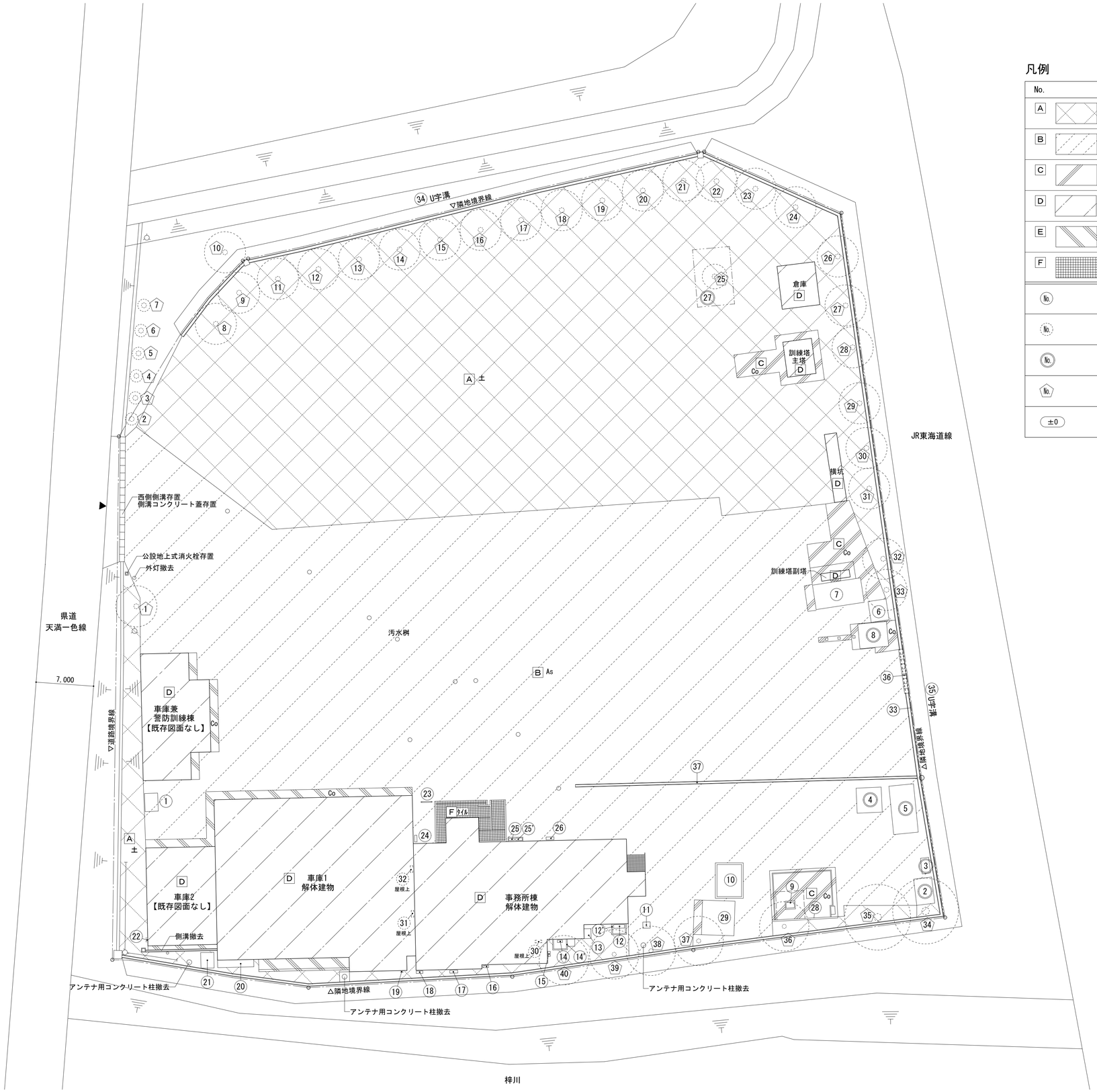
工事場所：米原市長岡２８１１番地１



付 近 見 取 図

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. Ｄ－０２
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名 解体工事特記仕様書２	縮尺 A1：— A3：—

現況配置図　1/250

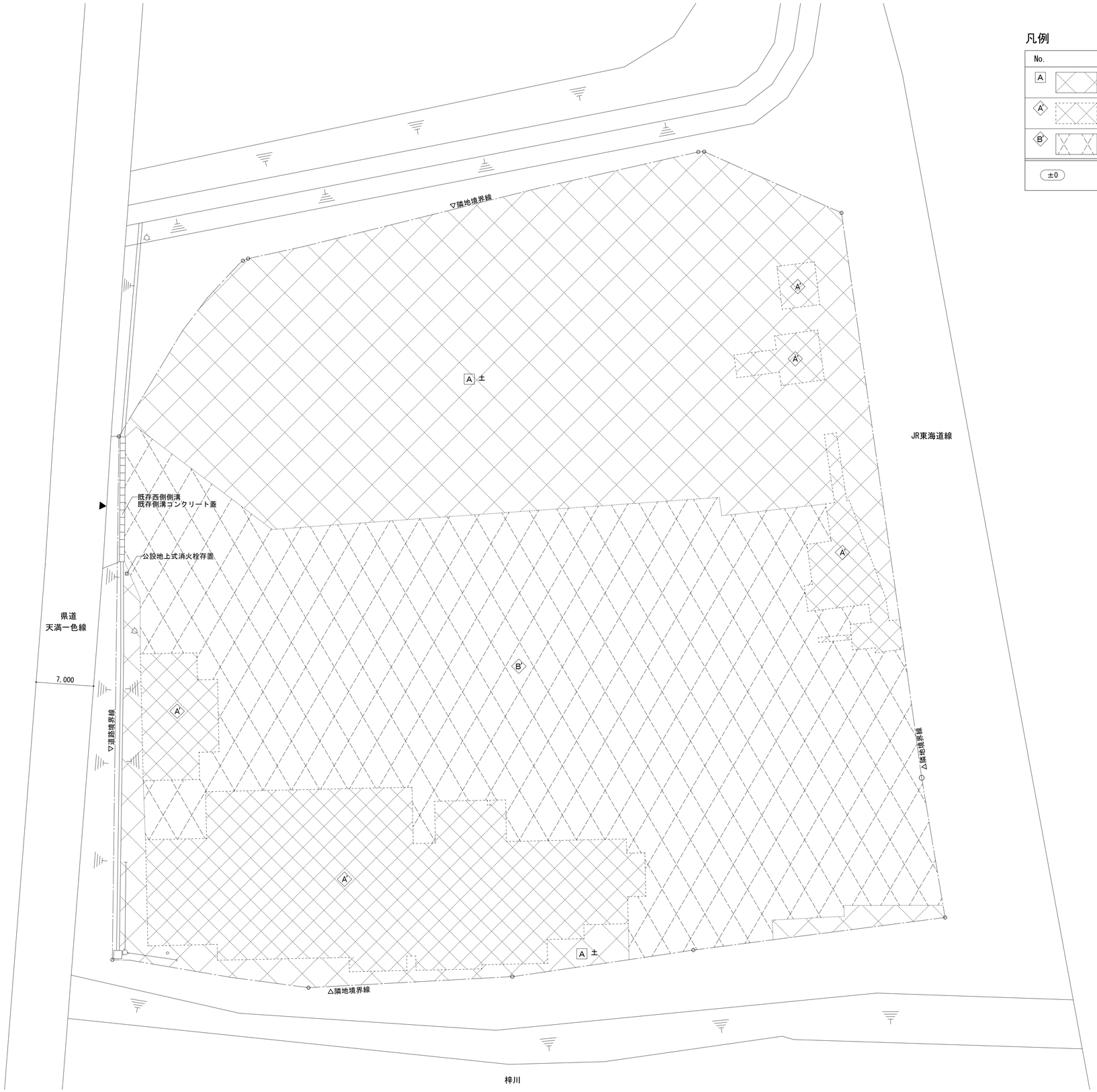


凡例

No.	名称	工事内容
A	土	現況土部分そのまま ※範囲内の特記なき埋設物は、撤去とする
B	アスファルト舗装	現況アスファルト舗装撤去 ※範囲内の特記なき埋設物は、撤去とする
C	土間コンクリート	現況土間コンクリート撤去 ※範囲内の特記なき埋設物は、撤去とする
D	現況建物解体部分	既存建物解体
E	土間コンクリート	現況土間コンクリート撤去
F	タイル張り	現況タイル貼撤去
No.	工事対象物（地上設置物）	屋外現況物リスト参照
No.	工事対象物（屋根上設置物）	屋外現況物リスト参照
No.	工事対象物（添付写真有り）	屋外現況物リスト参照
No.	現況樹木	樹木リスト参照
±0	現況仕上げ地盤高さ	—

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称 湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. D－03
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名 現況配置図	縮尺 A1：1/250 A3：1/500

改修配置図　1/250



凡例

No.	名称	工事内容
A	土	現況土部分そのまま
A'	土	建物撤去跡 土埋戻しの上、真砂土t=50敷き、転圧
B'	土	アスファルト舗装撤去部分 真砂土t=50敷き、転圧
±0	改修仕上げ地盤高さ	—

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号			構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）		名称 湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. D－04
				構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）		図名 改修配置図	縮尺 A1：1/250 A3：1/500

屋外現況物リスト

No.	名称	WxDxH	工事内容
1	タクボ物置［JNA-2215］	2,200 x 1,590 x 2,520～2,570	撤去
2	ゴミ保管庫（可燃ごみ） 壁　：カラー鉄板 屋根：折板葺き	3,200 x 2,200 x 2,200～2,400	撤去
3	ゴミ保管庫（不燃ごみ） 壁：金網、屋根：折板葺き	1,900 x 1,000 x 2,000	撤去
4	イナバ物置［FF-3030HY］	3,050 x 3,050 x 2,330～2,380	存置（移設済）
5	ヨド物置［VGC-3052］	3,003 x 5,921 x 2,156～2,349	撤去
6	ヨド物置［あぜくら］	2,560 x 2,200 x 2,000～2,100	撤去
7	ヨド物置［VGC-3052］	3,003 x 5,921 x 2,156～2,349	撤去
8	カーポート 柱・梁：100角鋼管、屋根：波板	3,600 x 2,500 x 3,000（柱芯）	撤去
9	通信用発電機 ネットフェンス（H2000）	1,000 x 700 x 2,000 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：1,200 x 1,000 x 400 全長10m	撤去 撤去 撤去
10	消火水槽	4,300 x 3,400 x 2,700　t200	撤去
11	井戸ポンプカバー	900 x 750 x 700	撤去 ［ポンプ共］
12	オイルタンク	1,300 x 450 x 700	撤去
12'	防油堤（RC）	1,800 x 1,300 x 600　t120	撤去
13	プロパン庫（CB）	1,200 x 850 x 1,500	撤去
14	石油給湯器［IB-456(CHOFU)］	300 x 591 x 833	撤去
14'	コンクリート槽	1,800 x 1,300 x 600　t120	撤去
15	室外機［三菱］	600 x 300 x 850	撤去
16	室外機［Panasonic］	700 x 250 x 500	撤去
17	室外機［三菱］	950 x 350 x 1,350	撤去
18	室外機［Panasonic］	800 x 300 x 600	撤去
19	給湯器	250 x 200 x 600	撤去
20	小屋	4,000 x 900 x 1,900～2,000	撤去
21	キュービクル	1,900 x 1,600 x 2,300	撤去
22	分電盤	500 x 200 x 1,200	撤去
23	掲示板	1,800 x 1,800 x 100	撤去
24	室外機［Panasonic］	800 x 300 x 500	撤去
25 25'	室外機［三洋］ 室外機［東芝］	700 x 250 x 500 800 x 300 x 500 ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎：1,800 x 500 x 300	撤去 撤去 撤去
26	室外機［三菱］	950 x 350 x 920	撤去
27	がれき	7,000 x 4,500 x 500	撤去
28	放水壁	8,000 x 2,050 x t170	撤去
29	油庫（CB造）	3,950 x 4,200 x 2,500	撤去
30	室外機	800 x 300 x 600（庁舎屋根上）	撤去
31	室外機	800 x 300 x 600（車庫1屋根上）	撤去
32	室外機	800 x 300 x 600（車庫1屋根上）	撤去
33	ネットフェンス	H=1000	撤去
34	U字溝　W300（会所枡共）	69m	撤去
35	U字溝　W300（会所枡共）	206m	撤去
36	コンクリート製溝蓋	600 x 500 x 80 x 9個	撤去
37	U字溝　W240（グレーチング共）	42m	撤去

2 3 ゴミ保管庫

4 5 物置

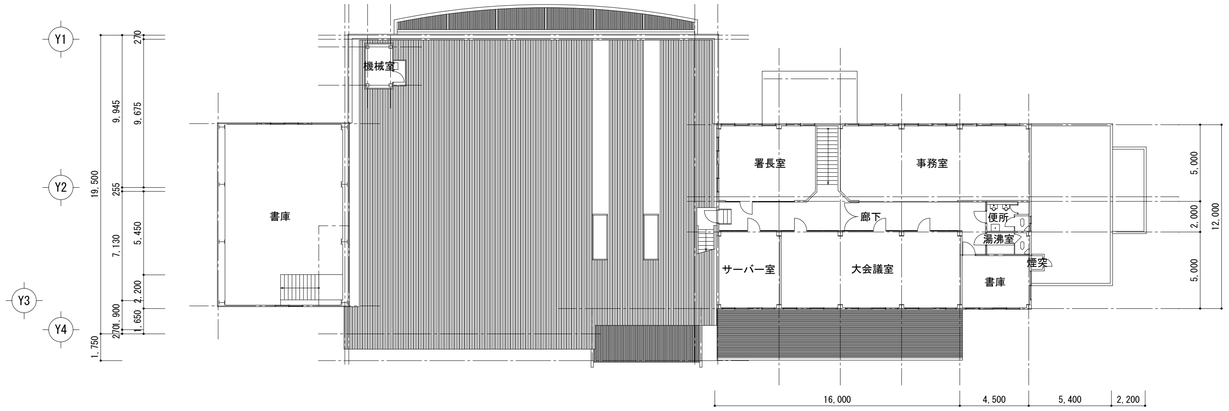
8 カーポート

11 井戸ポンプカバー

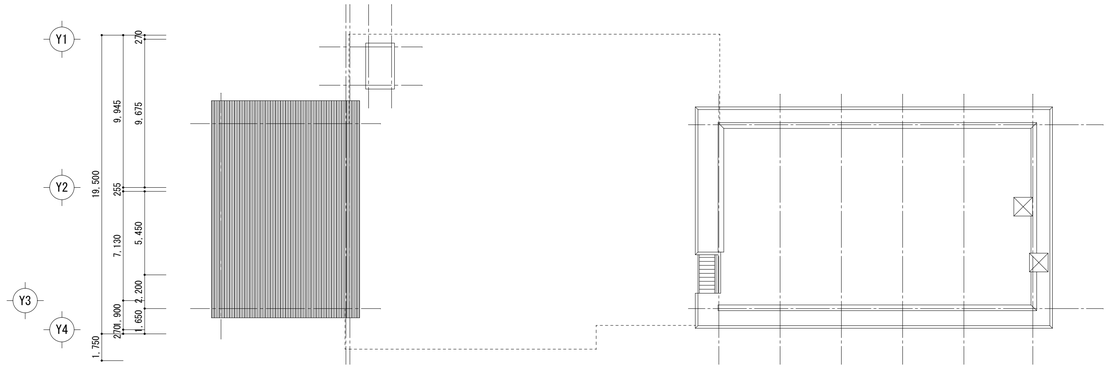
27 がれき現況写真

樹木リスト

No.	名称	高さ[mm]	枝張[mm]	幹周[mm]	工事内容
1	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
2	広葉樹	4,000	1,500	1,000	伐採・伐根
3	広葉樹	4,000	1,500	1,000	伐採・伐根
4	広葉樹	4,000	1,500	1,000	伐採・伐根
5	広葉樹	4,000	1,500	1,000	伐採・伐根
6	広葉樹	4,000	1,500	1,000	伐採・伐根
7	広葉樹	4,000	1,500	1,000	伐採・伐根
8	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
9	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
10	針葉樹	5,000	9,000	1,200	伐採・伐根
11	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
12	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
13	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
14	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
15	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
16	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
17	広葉樹	6,000	5,000	1,600	伐採・伐根
18	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
19	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
20	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
21	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
22	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
23	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
24	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
25	広葉樹	3,000	3,000	400	伐採・伐根
26	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
27	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
28	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
29	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
30	広葉樹	10,000	6,000	1,800	伐採・伐根
31	広葉樹	10,000	6,000	2,700	伐採・伐根
32	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
33	広葉樹	8,000	6,000	1,700	伐採・伐根
34	広葉樹	8,000	8,000	2,800	伐採・伐根
35	広葉樹	8,000	8,000	2,800	伐採・伐根
36	広葉樹	6,000	6,000	1,400	伐採・伐根
37	広葉樹	6,000	6,000	1,400	伐採・伐根
38	広葉樹	6,000	6,000	1,400	伐採・伐根
39	広葉樹	6,000	6,000	1,400	伐採・伐根
40	広葉樹	6,000	6,000	1,400	伐採・伐根

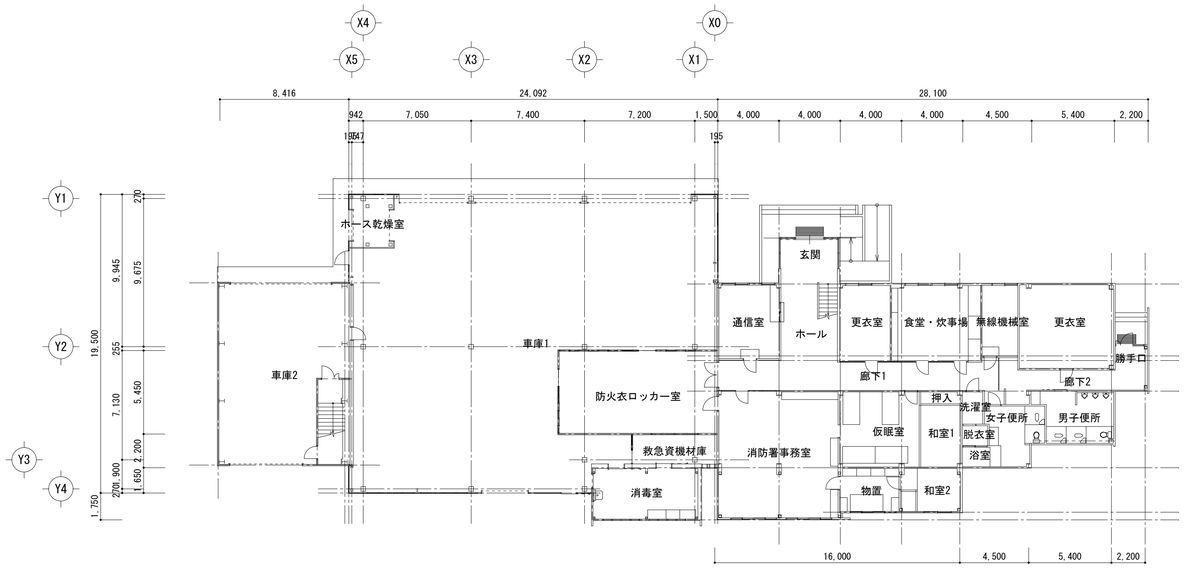


２階平面図　1/200

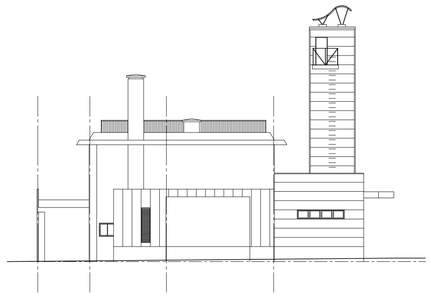


屋根伏図　1/200

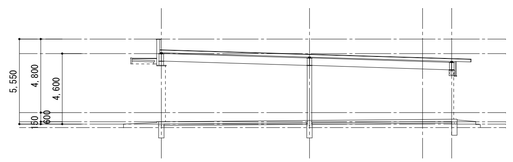
註）煙突部分の解体においては、解体前に煙突内排気管材料にアスベスト含有が疑わしい建材が使用されていないか調査し、疑わしい場合は事前に検体を採取し、アスベスト濃度分析試験を行い、アスベスト含有建材で有れば適正処分を行うこと。



１階平面図　1/200

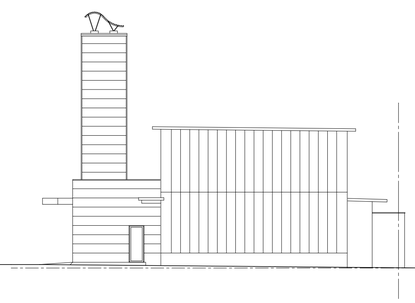


東立面図　1/200



断面図　1/200

北立面図　1/200

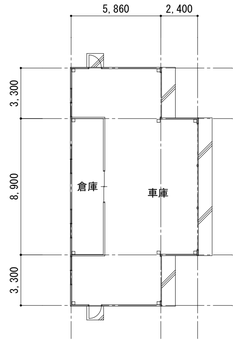


西立面図　1/200

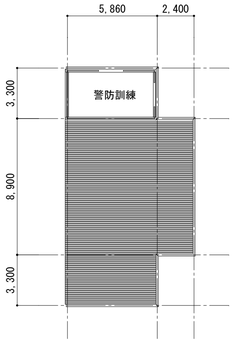
南立面図　1/200

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. D－06
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名　解体建物【消防署庁舎・車庫】 平面図、立面図、断面図	縮尺 A1：1/200 A3：1/400

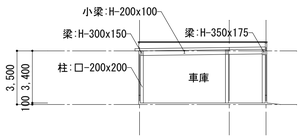
車庫兼警防訓練棟



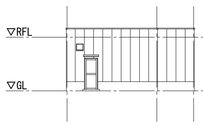
1階平面図　1/200



屋根伏図　1/200

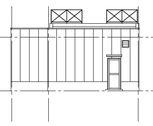


断面図　1/200

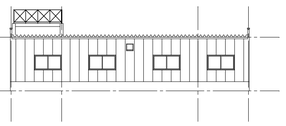


南立面図　1/200

東立面図　1/200

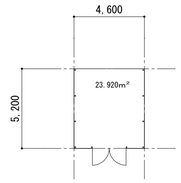


北立面図　1/200

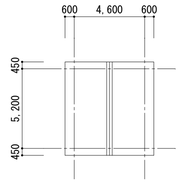


西立面図　1/200

倉庫

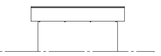


1階平面図　1/200



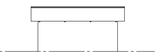
屋根伏図　1/200

北立面図　1/200

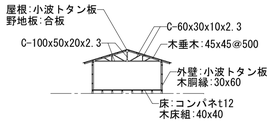


西立面図　1/200

南立面図　1/200

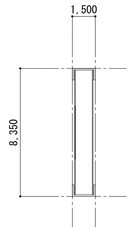


東立面図　1/200

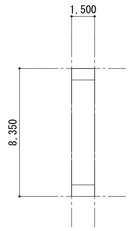


断面図　1/200

横坑（訓練棟）

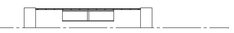


1階平面図　1/200



屋根伏図　1/200

北立面図　1/200

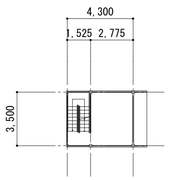


西立面図　1/200

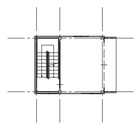
南立面図　1/200

東立面図　1/200

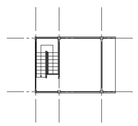
訓練塔主塔



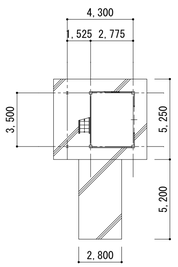
2階平面図　1/200



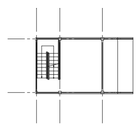
4階平面図　1/200



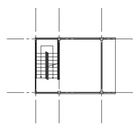
6階平面図　1/200



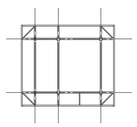
1階平面図　1/200



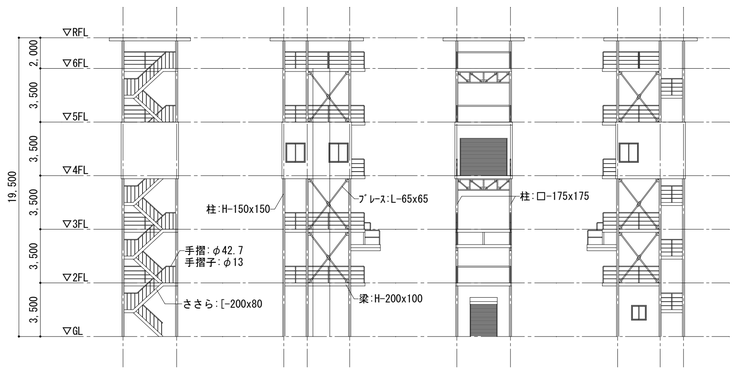
3階平面図　1/200



5階平面図　1/200



R階平面図　1/200



北立面図　1/200

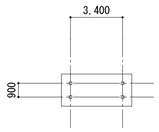
西立面図　1/200

南立面図　1/200

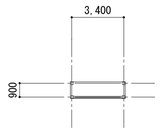
東立面図　1/200

註）基礎　:5,250×6,100×H2,300 程度
支持杭：PCﾊﾟｲﾙ-300φ　L=7,000 10本 程度
撤去を見込むこと。

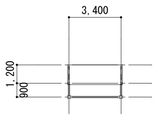
訓練塔副塔



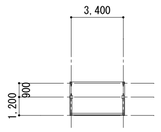
1階平面図　1/200



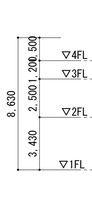
2階平面図　1/200



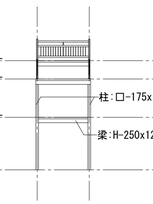
3階平面図　1/200



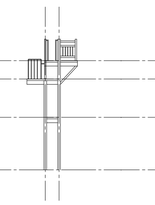
4階平面図　1/200



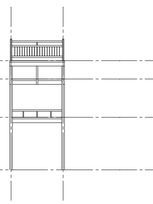
北立面図　1/200



西立面図　1/200



南立面図　1/200



東立面図　1/200

註）基礎　:2,100×4,600×H1,500 程度
支持杭：PCﾊﾟｲﾙ-300φ　L=7,000 4本 程度
撤去を見込むこと。

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. D－07
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名　解体建物【訓練塔他】 平面図、立面図、断面図	縮尺 A1：1/200 A3：1/400

外部仕上表

部　位	仕　上	備　考
【事務所棟】	鉄骨造	
屋　根	均しﾓﾙﾀﾙの上、ｱｽﾌｧﾙﾄ防水（歩行用） 保護ﾓﾙﾀﾙｔ60	
庇	ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上、外装複層塗材	
軒　天	ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押えの上、外装薄塗材E	
外　壁	吹付ﾀｲﾙ 煙突部：リシン吹付け	
犬走り	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	
玄関ポーチ	床:磁器質100角ﾀｲﾙ貼 屋根:木毛板ｔ25下地、ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kgの上、鉄板ｔ4張 軒天:ｱﾙﾐｶﾗｰｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ	

部　位	仕　上	備　考
【車庫棟１】	鉄骨造	
屋　根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.8 H=165 丸馳折板１型葺　ｽｰﾊﾟｰﾌｪﾙﾄﾝ　t=5裏張	笠木:ｱﾙﾐ笠木H=275
軒　天	折板 ｽｰﾊﾟｰﾌｪﾙﾄﾝ t=5裏張	軒樋：塩ビ 200角
庇	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.8 H=088 ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ ｽｰﾊﾟｰﾌｪﾙﾄﾝ　t=5裏張	鼻隠し：ｱﾙﾐ t=1.5 保温ﾊﾟﾈﾙt=10貼
庇裏	ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ ｽｰﾊﾟｰﾌｪﾙﾄﾝ　t=5裏張	軒樋：耐酸被覆鋼板 t=0.5
外　壁	押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t=60の上　ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料吹付 ALC t=50 防水形複層塗材E 吹付	竪樋：塩ビ150φ・75φ
梁　型	ﾛｯｸｳｰﾙ吹付け t=10	
腰壁(巾木)	ﾓﾙﾀﾙ補修	
犬走り	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	
ﾎｰｽ塔屋根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.5 立平葺	SUS製 ｵﾌﾞｼﾞｪ
【車庫兼警防訓練棟】	鉄骨造	
屋　根	折板屋根	
庇	ｱﾙﾐ庇	
外　壁	ALC板 t=100の上、吹付ﾀｲﾙ	
腰壁(巾木)	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	
警防訓練	床:鉄骨床組み、ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ	

部　位	仕　上	備　考
【車庫２】	鉄骨造	
屋　根	折板屋根	
軒　天	折板表し	軒樋：
外　壁	ALC板 t=100の上、吹付ﾀｲﾙ	竪樋：
腰壁(巾木)	ｺﾝｸﾘｰﾄ	
【訓練棟・主塔】	鉄骨造	
屋　根	鉄骨チェッカープレート　ＳＯＰ塗装	
軒　天	鉄骨　ＳＯＰ塗装	軒樋：
外　壁	ｹｲｶﾙ板 t=8.0 の上、 リシン吹付	竪樋：
腰壁(巾木)	ｺﾝｸﾘｰﾄ	
【訓練棟・副塔】	鉄骨造	
屋　根	鉄骨チェッカープレート　ＳＯＰ塗装	
軒　天	鉄骨　ＳＯＰ塗装	
外　壁	鉄骨　ＳＯＰ塗装	

事務所棟　内部仕上表

階	室名	床 仕上	床 下地	床 床高 FL±	巾木 仕上	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 下地	廻縁	CH	備　考	室名
1階	玄関	ﾃﾗｿﾞｰ	MO	±0	—	—	—	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ	LGS	木製	2,700	靴箱、足ふきﾏｯﾄ	玄関
	ホール	ﾃﾗｿﾞｰ	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	内装吹付塗材	LGS	木製	2,900	掲示板(W1800xH900)	ホール
	廊下1	ﾃﾗｿﾞｰ	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	木製	2,700	掲示板(W1800xH900)	廊下1
	消防署事務室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	OAﾌﾛｱ	+50	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	岩綿吸音板	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(W1800xH1200)、 ｼｽﾃﾑ収納(W3640xH2650xD500)、ｼｽﾃﾑ収納(W1840xH2650xD500)x2台	消防署事務室
	受付	ﾀｲﾙｶﾍﾞｰｯﾄ 踏込：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	OAﾌﾛｱ	+50	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	岩綿吸音板 t=9.0	LGS	木製	2,650	受付ｶｳﾝﾀｰ	受付
	更衣室	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,650	天井裏：鉄骨耐火被覆	更衣室
	食堂	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ｿﾞﾗｺｰﾄ	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,650	ﾛｯｶｰ(W3200xH1800xD400)、 棚(W1470xH1430xD570)	食堂
	炊事場	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	MO	±0	—	100角ﾀｲﾙ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,650	流し(L1500)x2台、ｶﾞｽ台(L2000)、 吊戸棚(W1800xxH500xD370)	炊事場
	無線機械室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	OAﾌﾛｱ	+150	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,600	ｻｰﾊﾞｰ(W800xH1850xD300)、 蓄電池盤(W1100xH2000xD600)	無線機械室
	更衣室	ﾀｲﾙｶﾍﾞｰｯﾄ 踏込：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,650	—	更衣室
	男子便所	50角ﾀｲﾙ貼	MO	±0	—	腰壁：木羽目板 H=1200 上部：PBの上、ｺﾃ塗	MO	木	LGS	塩ﾋﾞ製	2,400	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、和便器x2、洋便器x1、小便器x3、手洗い器	男子便所
	女子便所	50角ﾀｲﾙ貼	MO	±0	—	腰壁：木羽目板 H=1200 上部：PBの上、ｺﾃ塗	MO	木	LGS	塩ﾋﾞ製	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、和便器x1、洋便器x1、手洗い器	女子便所
	洗面･洗濯室	50角ﾀｲﾙ貼	MO	±0	—	100角ﾀｲﾙ貼	MO	ﾊﾞｽﾘﾌﾞ	LGS	—	2,500	手洗い器	洗面･洗濯室
	脱衣室	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	木床組	+280	—	100角ﾀｲﾙ貼	MO	ﾊﾞｽﾘﾌﾞ	LGS	—	2,300	—	脱衣室
	浴室	50角ﾀｲﾙ貼	木床組	+180	—	100角ﾀｲﾙ貼	MO	ﾊﾞｽﾘﾌﾞ	LGS	—	2,400	SUS製浴槽(W850xL660xD600)	浴室
	仮眠室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H100	ｼﾞｭﾗｸ塗	MO	岩綿吸音板	LGS	塩ﾋﾞ製	2,670	木製ﾍﾞｯﾄﾞ(1100x2130xH600)x4台	仮眠室
	和室1	ﾀﾀﾐ敷	木床組	+280	ﾀﾀﾐ寄せ	ｼﾞｭﾗｸ塗	MO	岩綿吸音板	LGS	塩ﾋﾞ製	2,400	押入(奥行900)	和室1
	和室2	ﾀﾀﾐ敷	木床組	+280	ﾀﾀﾐ寄せ	ｼﾞｭﾗｸ塗	MO	岩綿吸音板	LGS	木製	2,400	棚(奥行570)	和室2
	物置	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ｼﾞｭﾗｸ塗	MO	岩綿吸音板	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	木製ﾍﾞｯﾄﾞ(仮眠室同じ)、 ｼｽﾃﾑ収納(W900xH2100xD500)x6台	物置
	廊下2	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700 2,380	自動販売機x2台	廊下2
	勝手口	500角Pﾀｲﾙ貼	MO	±0	木製巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	木	LGS	塩ﾋﾞ製	2,400	靴箱(W2400xH1800xD350)	勝手口

【凡　例】

― ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称	湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	No. D－08
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名	解体建物 仕上表（1）	縮尺 A1：－ A3：－

事務所棟　内部仕上表

階	室名	床 仕上	床 下地	床 床高 FL±	巾木 仕上	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 下地	廻縁	CH	備　考	室名
2階	署長室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	OAﾌﾛｱ	+50	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	岩綿吸音板	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	手洗い器	署長室
	事務室	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	OAﾌﾛｱ	+50	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	ｶｳﾝﾀｰ台	事務室
	サーバー室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	ｻｰﾊﾞｰ(W800xH1850xD300)	サーバー室
	大会議室	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ(W3600xH1200)	大会議室
	書庫	ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H100	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	岩綿吸音板	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	—	書庫
	廊下	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	MO	±0	ｿﾌﾄ巾木 H60	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	2,700	—	廊下
	湯沸室	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼	MO	±0	—	100角ﾀｲﾙ貼	MO	ｹｲｶﾙ板 t=6.0 + EP塗装	LGS	—	2,500	流し(L1200)、ｶﾞｽ台(L600)	湯沸室
	便所	50角ﾀｲﾙ貼	MO	±0	—	100角ﾀｲﾙ貼	MO	ｹｲｶﾙ板 t=6.0 + EP塗装	LGS	—	2,500	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、和便器x2、手洗い器	便所
共通	階段	ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ貼	MO	—	—	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	MO	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	—	—	階段

車庫棟１　内部仕上表

階	室名	床 仕上	床 下地	床 床高 FL±	巾木 仕上	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 下地	廻縁	CH	備　考	室名
1階	車庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 一部ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き		-500	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 + 樹脂ﾓﾙﾀﾙ補修	押出成形ｾﾒﾝﾄ板/ALC板　外装薄塗材E吹付 PB t=9.5捨張の上、複層塗材Ｅ吹付	—	ｽｰﾊﾟｰﾌｪﾙﾄﾝ　t=5裏張 一部　強化PB12.5目透し張+VP塗装		—	—	—	車庫
	防火衣ﾛｯｶｰ室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 一部ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き		-500	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	腰壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　複層塗材Ｅ吹付 上部:PB t=9.5捨張の上、 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=6 複層塗材Ｅ吹付	LGS	ｹｲｶﾙ板 t6.0+VP塗装 一部　強化PB12.5目透し張+VP塗装	LGS	塩ﾋﾞ製	2,800	くつ拭きﾏｯﾄ	防火衣ﾛｯｶｰ室
	救急資機材庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え ﾗﾜﾝ合板 t=12下地の上、ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼	木床組	-500 -320	ｿﾌﾄ巾木 H60	腰壁:複層塗材Ｅ吹付 上部:PB t=9.5捨張の上、 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=6 複層塗材Ｅ吹付	LGS	強化PB12.5目透し張+VP塗装	LGS	塩ﾋﾞ製	2,800	—	救急資機材庫
	ﾎｰｽ乾燥室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え		-500	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放	押出成形ｾﾒﾝﾄ板　表わし		耐火野地板 t=18 表わし		—	14,650	電動ﾎｰｽ掛け	ﾎｰｽ乾燥室

車庫棟２　内部仕上表

階	室名	床 仕上	床 下地	床 床高 FL±	巾木 仕上	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 下地	廻縁	CH	備　考	室名
	車庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	—	-500	—	外壁表し	—	折板屋根表し	—	—	4,300	天井裏：鉄骨耐火被覆	車庫
2階	書庫	ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ貼	MO	±0	—	化粧ﾍﾞﾆﾔの上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	3,100	可動式書架(W2850xH2150xD660)x5台	書庫
共通	階段		MO	—	—	化粧ﾍﾞﾆﾔの上、ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼	LGS	化粧PB	LGS	塩ﾋﾞ製	—	—	階段

消毒室棟　内部仕上表

階	室名	床 仕上	床 下地	床 床高 FL±	巾木 仕上	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 下地	廻縁	CH	備　考	室名
1階	消毒室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ+塗床	—	-500	塗上げ	ｹｲｶﾙ板+EP塗装	LGS	ｹｲｶﾙ板+EP塗装	—	塩ﾋﾞ製	2,600	流し(L1200)、SUS台(L900)、SUS台(L1000)、手洗い器	消毒室

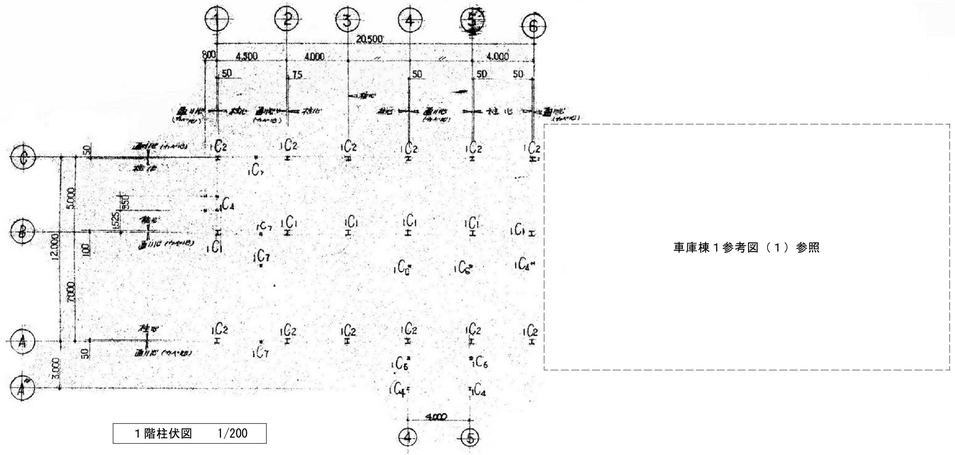
車庫兼警防訓練棟　内部仕上表

階	室名	床 仕上	床 下地	床 床高 FL±	巾木 仕上	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 下地	廻縁	CH	備　考	室名
1階	車庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	—	-500	—	腰壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 上部:ALC表し	—	折板屋根表し	—	—	—	—	車庫
	倉庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	—	-500	—	腰壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 上部:ALC表し	—	折板屋根表し	—	—	—	—	倉庫

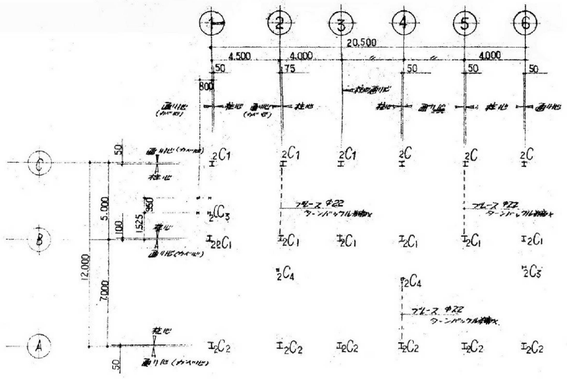
【凡　例】

— ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

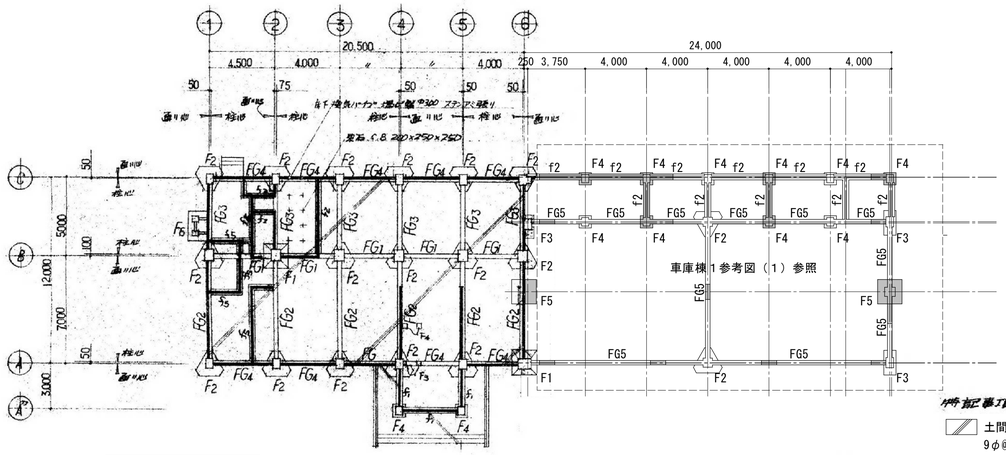
株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称	湖北地域消防本部 旧米原消防署解体工事	Ｎｏ． Ｄ－０９
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名	解体建物 仕上表（２）	縮尺 A1：－ A3：－



１階柱伏図　1/200



２階柱伏図　1/200

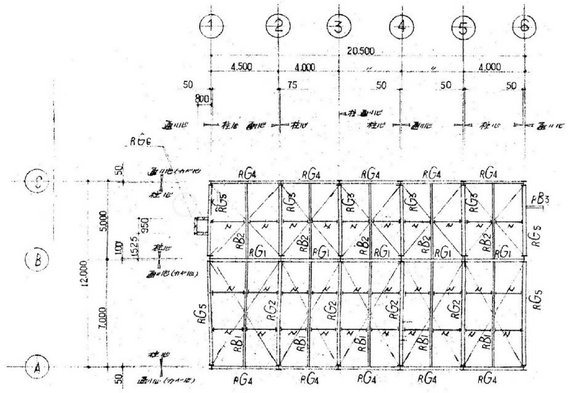


基礎伏図　1/200

特記事項

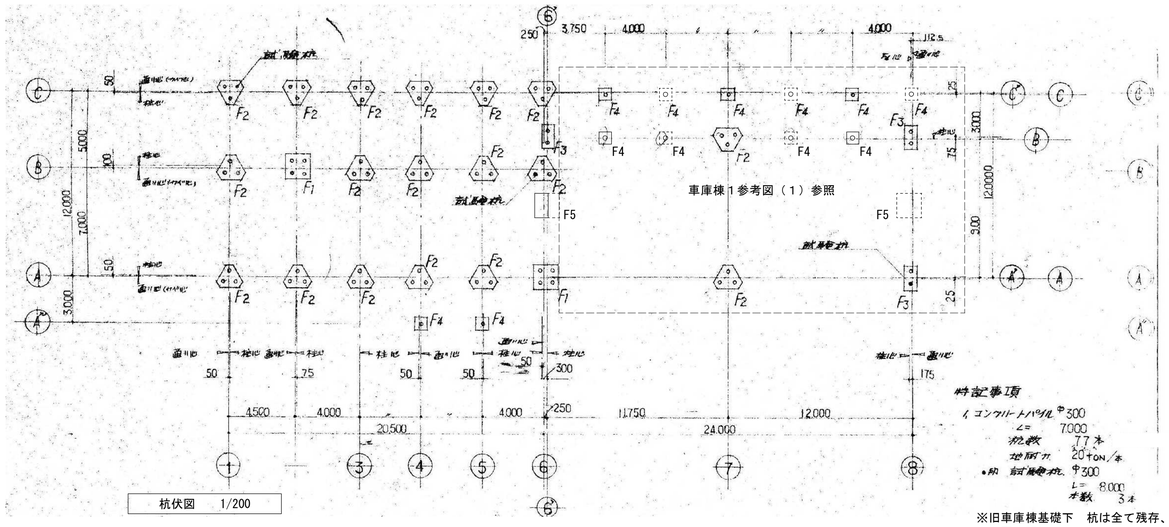
土間コンクリートt=100
9φ@300　クロス

旧車庫撤去済み基礎、地中梁を示す。



屋階梁伏図　1/200

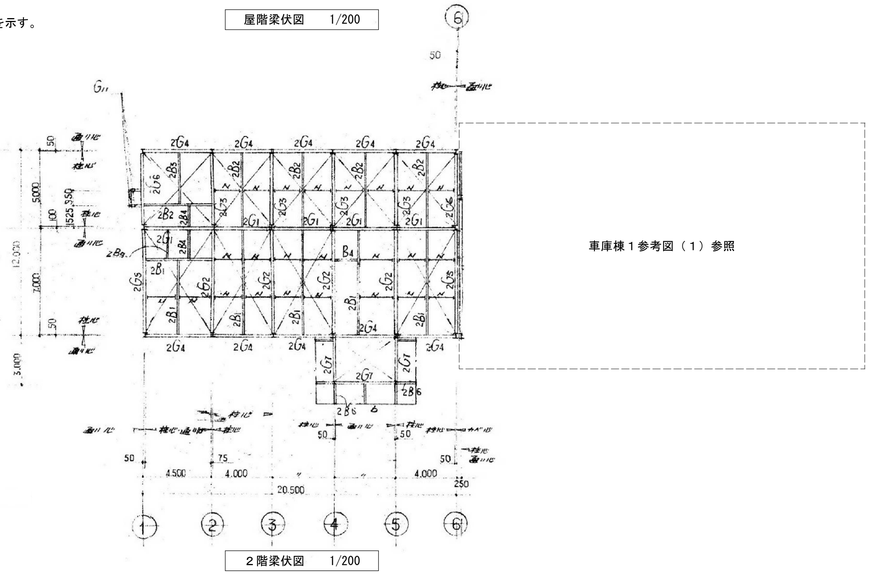
特記事項
1. 水平ブレース φ16 ターンバックル締め
2. 図面明示なくも、仕様は壁CB造ソデ
2C-100×50×20×2.3形鋼のこと。



杭伏図　1/200

特記事項
1. コンクリートパイル φ500
L= 7000
杭数 77本
地耐力 20ton/本
•印 試験杭 φ300
L= 8000
本数 3本

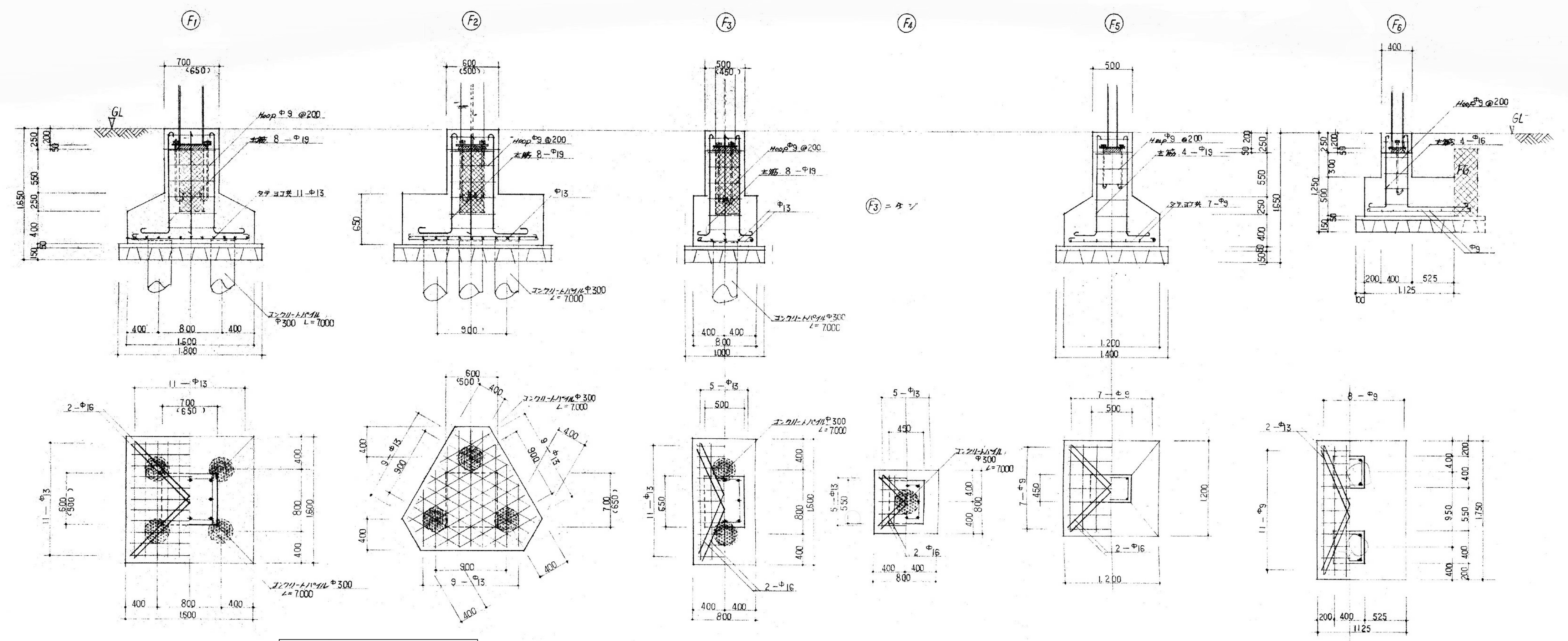
※旧車庫棟基礎下　杭は全て残存、
今回工事にて全て撤去
2. ⬚ は旧車庫撤去済み基礎を示す。



２階梁伏図　1/200

特記事項
1. 水平ブレース φ16ターンバックル締め
2. 図面明示なくも、仕様は壁CB造ソデ
2C-100×50×20×2.3形鋼のこと。

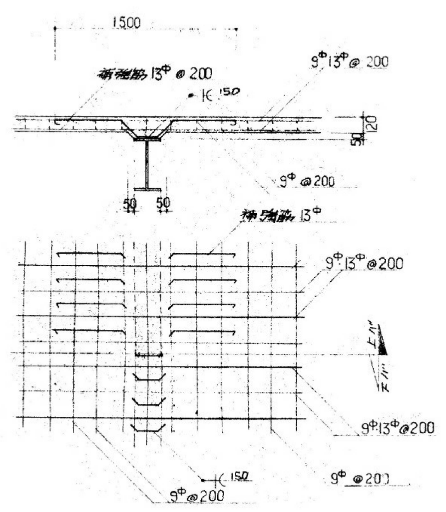
株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称 湖北地域消防本部 旧米原消防署	No. D－10
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名 事務所棟 参考図（１）	縮尺 A1：1/200 A3：1/400



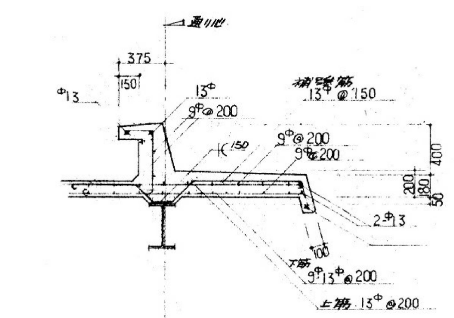
基礎詳細図　1/50

屋階スラブ配筋リスト

記号	位置	主筋 端部	主筋 中央	配力筋 端部	配力筋 中央	スラブ厚
S1	上筋	9Φ13Φ @200		9Φ @200		120
	下筋	9Φ13Φ @200		9Φ @200		
S2	上筋	13Φ @200		9Φ @200		200 ～ 180
	下筋	9Φ13Φ @200		9Φ @200		

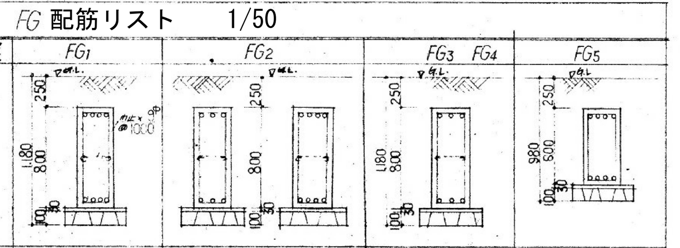


屋階スラブ配筋図　1/50

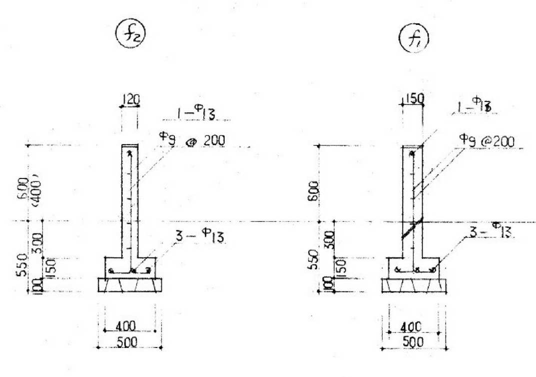


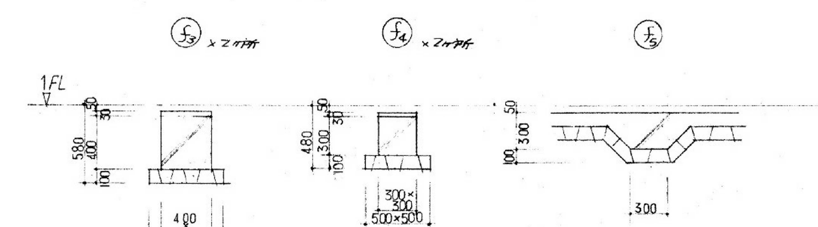
庇配筋図　1/50

FG 配筋リスト　1/50

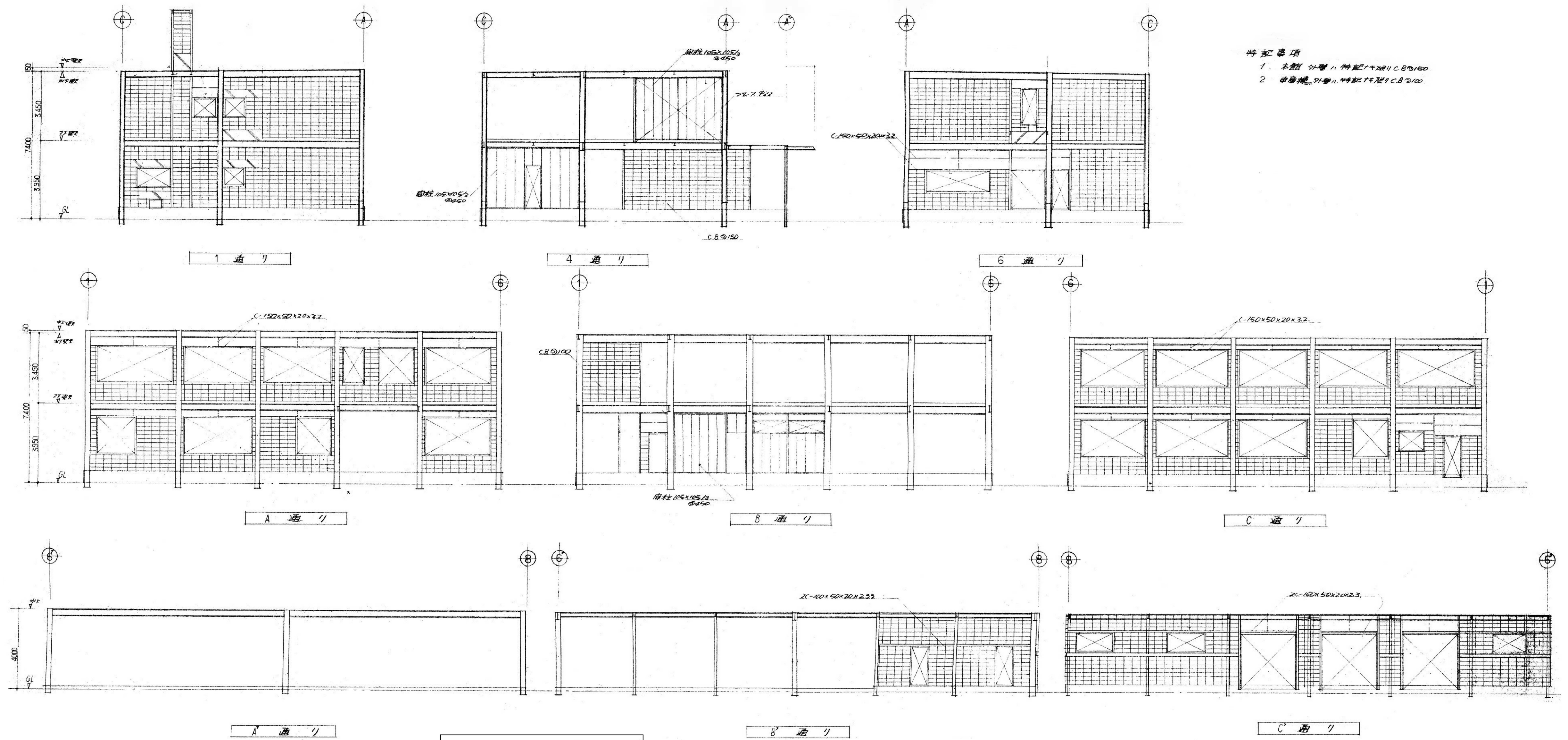
記号	FG1	FG2		FG3 FG4	FG5
姿図					
全断面	300 × 800	300 × 800		300 × 800	300 × 600
上筋	4 — D22	3 — D22	4 — D22	3 — D22	4 — D22
下筋	4 — D22	3 — D22	4 — D22	3 — D22	4 — D22
スタラップ	□9Φ—@200	□9Φ —@200		□9Φ—@200	□9Φ—@200
腹筋	2 — 9Φ	2 — 9Φ		2 — 9Φ	
備考		A通リ側	B通リ側		

凡例
- ○ D22
- ● Φ19
- ● Φ16
- × Φ13
- · Φ9

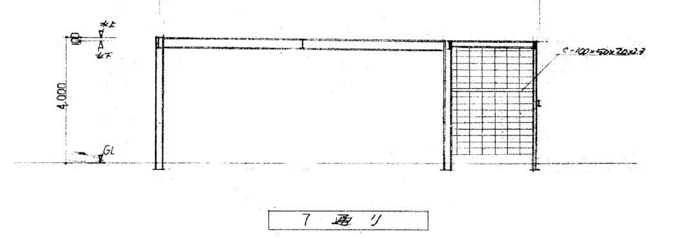




（註）階段部基礎



特記事項
1. 本館 外壁ハ特記ナキ限リ CB⑦150
2. 車庫棟 外壁ハ特記ナキ限リ CB⑦100

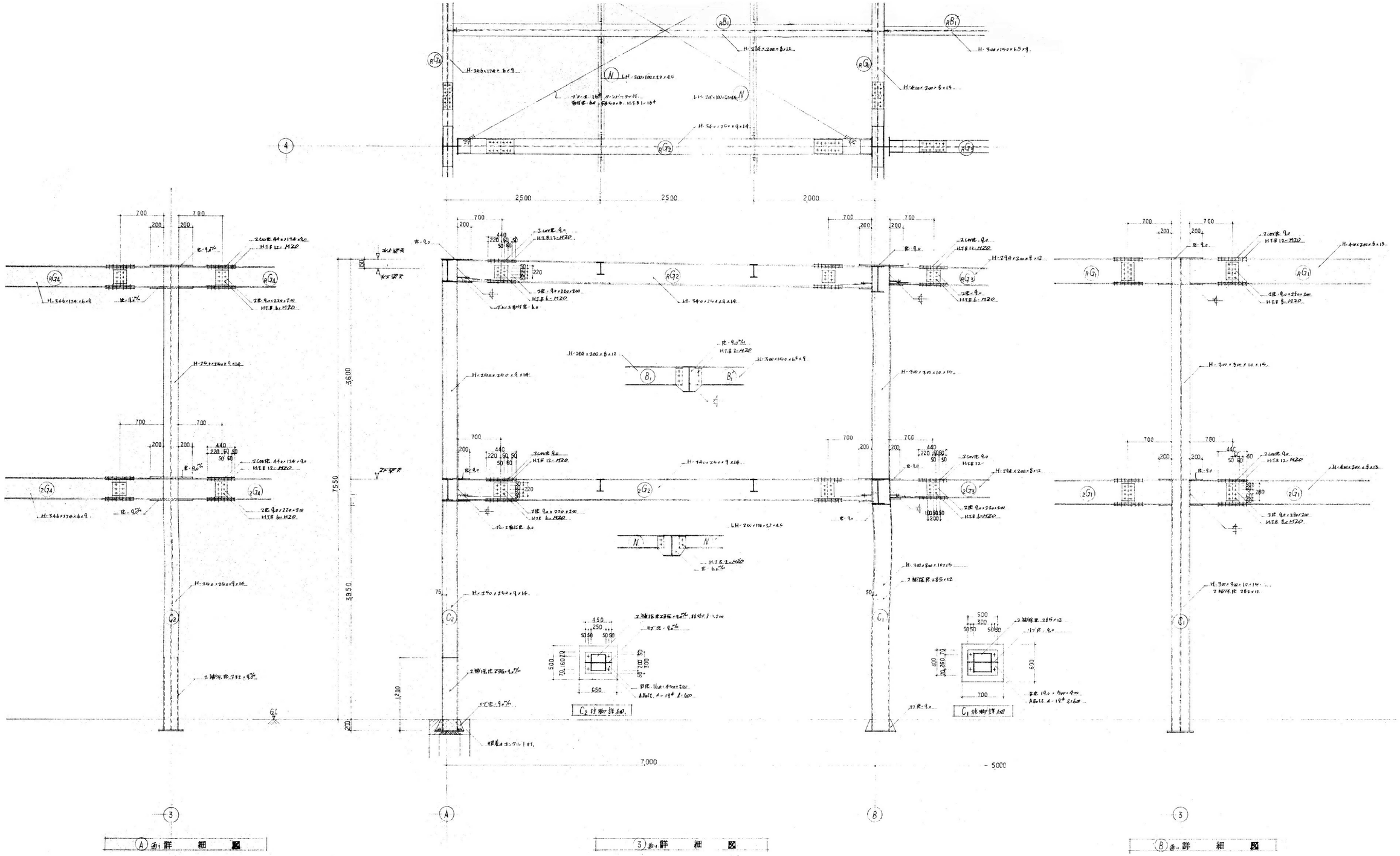


軸組図　1/200

部材リスト

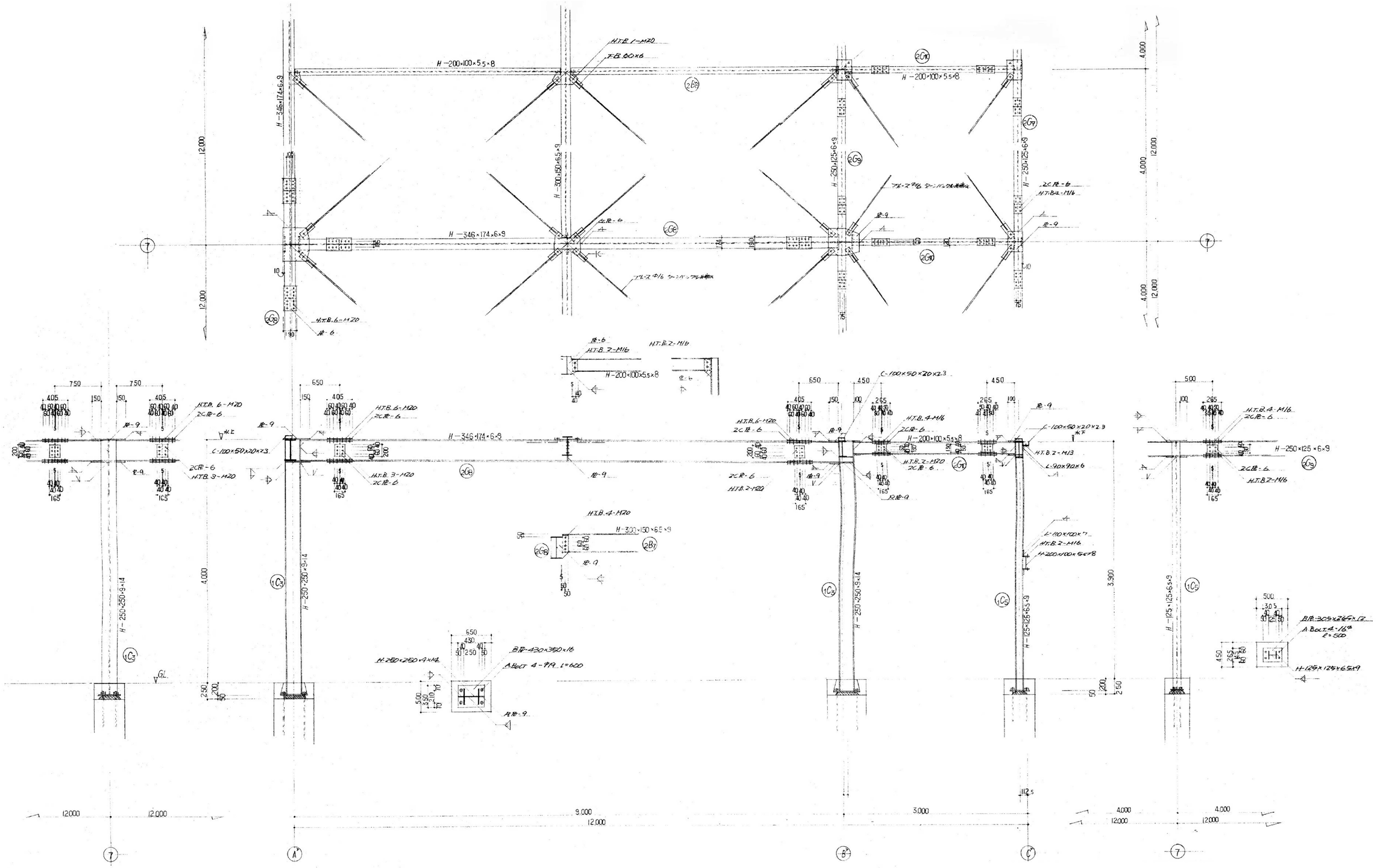
柱 記号	柱 部材	柱 備考	梁 記号	梁 部材	梁 備考	小梁 記号	小梁 部材	小梁 備考	其ノ他 記号	其ノ他 部材	其ノ他 備考
1階			2階			2階			N	LH-200×100×3.2×4.5	
C1	H-300×300×10×15　2PL-285×12	1F部分全テ	G1	H-400×200×8×13		B1	H-294×200×8×12		6	C-150×50×20×3.2	
C2	H-250×250×9×14　2PL-235×9	柱脚ヨリH=1,200	G2　G5	H-340×250×9×14		B2　B7	H-300×150×6.5×9				
C3	H-250×250×9×14		G3　G6	H-294×200×8×12		B3	H-250×125×6×9		モヤ	C-125×50×20×3.2	玄関屋根 @500
C4	H-150×150×7×10		G4　G8	H-346×176×6×9		B4　B8　B10	H-200×100×5.5×8			C-60×30×10×2.3	玄関庇 @500
C5	H-125×125×6.5×9		G7　G9	H-250×125×6×9		B5　B6	H-194×150×6×9				
C6	2C-150×50×20×3.2		G10	H-200×100×5.5×8		B9	H-150×75×5×7		ブレース（水平）	Φ16 ターンバックル締メ	
C7	2C-100×50×20×2.3		G11　RG7	H-150×150×7×10					（壁）	Φ22 ターンバックル締メ	
2階			屋階			屋階					
C1	H-300×300×10×15		G1	H-400×200×8×13		B1	H-294×200×8×12				
C2	H-250×250×9×14		G2　G5	H-340×250×9×14		B2	H-300×150×6.5×9				
C3	H-150×150×7×10		G3　G6	H-294×200×8×12		B3	H-194×150×6×9				
C4	2C-100×50×20×2.3		G4	H-346×176×6×9							

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署	No. D－11
		構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名　事務所棟 参考図（2）	縮尺 A1：1/50、1/200 A3：1/100、1/400



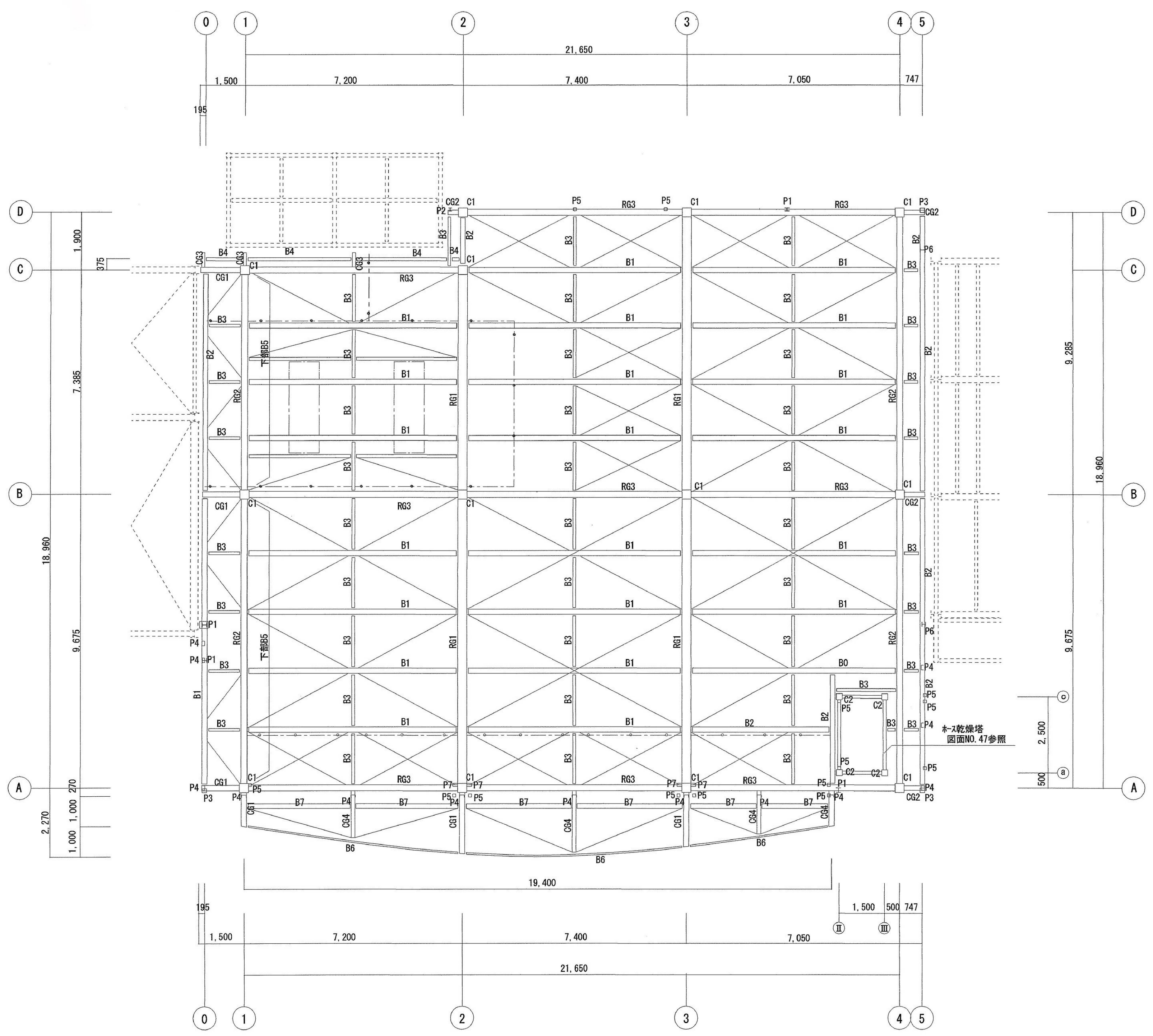
鉄骨詳細図　1/30

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号			構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署	No. D－12
				構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名　事務所棟 参考図（3）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60



鉄骨詳細図　1/30

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号			構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）		名称	湖北地域消防本部 旧米原消防署	No. D－13
				構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）		図名	事務所棟 参考図（4）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60

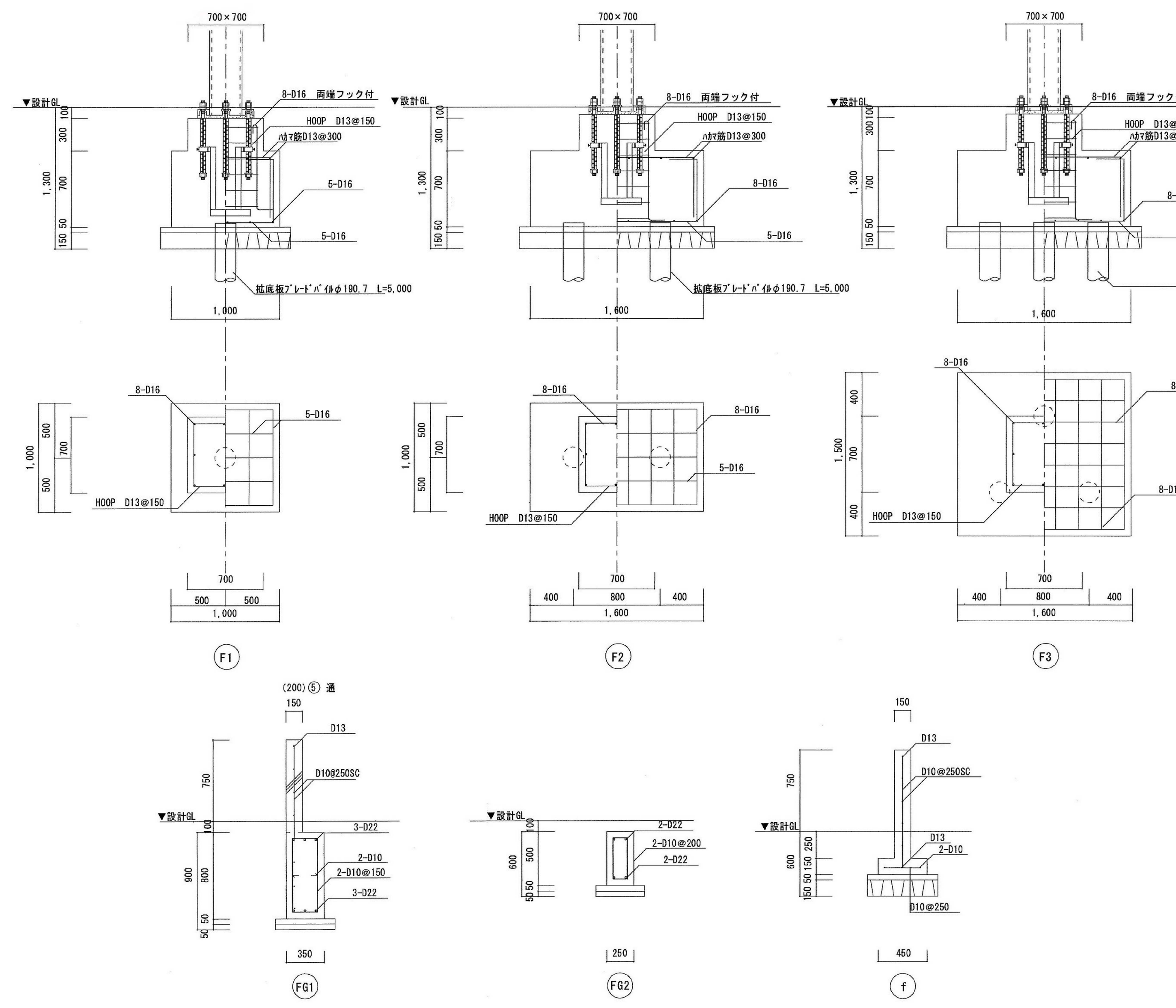


梁伏図　1/150

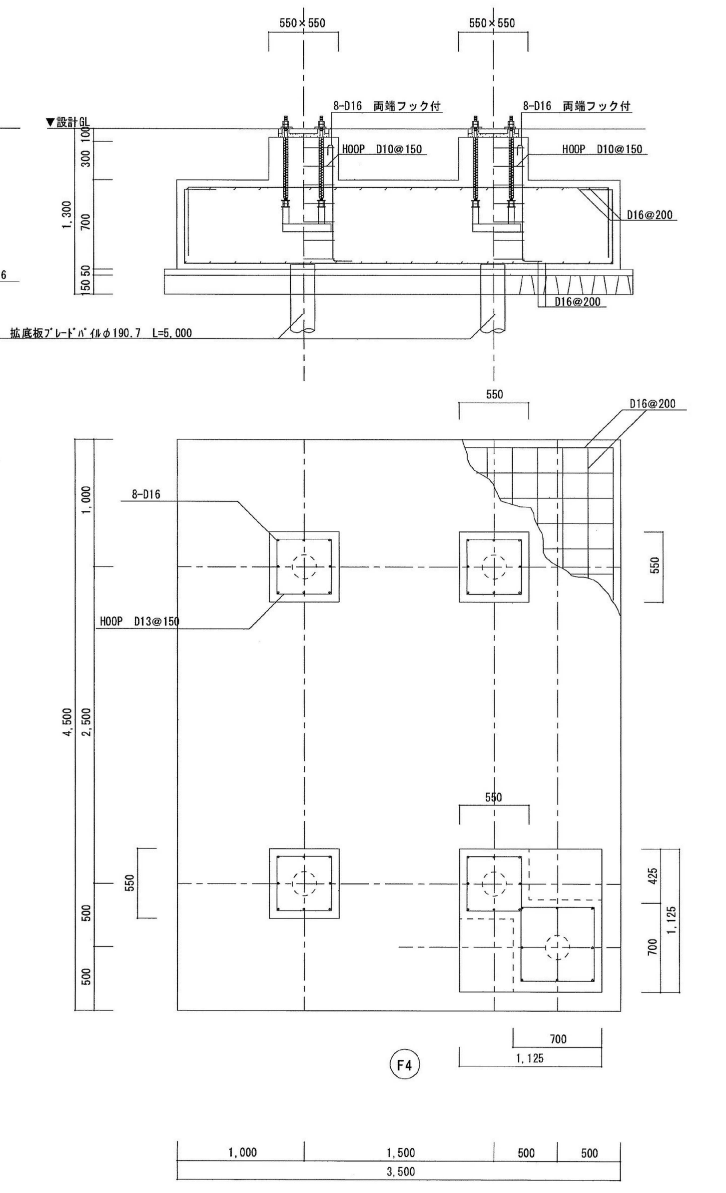
部材リスト		
記号	部材	接合
C1	□300x300x9	ベースパック 30－09N
C2	□200x200x9	ベースパック 20－09N
RG1	H-488×300×11×18 (SN400)	J－1
RG2	H-500×200×10×16 (SN400)	J－2
RG3	H-500×200×10×16 (SN400)	J－2
B0	H－400×200×8×13	PL－9 4－M20
B1	H－346×174×6×9	PL－6 3－M20
B2	H－300×150×6.5×9	PL－9 3－M20
B3	H－175×90×5×8	PL－6 2－M16
B4	H－200×100×5.5×8	PL－6 2－M16
B5	H－250×125×6×9	PL－6 3－M16
B6	[－250×75×4.5	PL－6 3－M16
B7	H－150×150×7×10	PL－6 2－M16
CG1	H－350×175×7×11 (SN400B)	
CG2	H－300×150×6.5×8 (SN400B)	
CG3	H－200×100×5.5×8 (SN400B)	
CG4	H－250×125×6×9	剛接合
(×)	水平ブレース M16 ターンバックル締め	
(—·—•)	頭つなぎ C-150×50×20×2.3	
(—·—)	[-200×75×4.5	トップライト受
(—·—○)	H-200×100×5.5×8	照明器具取付用形鋼
P1	H-150×150×7×10	
P2	H-100×100×6×8	BPL16×200×225 AB2-19φ L=800
P3	□-150×150×4.5	BPL12×150×200 AB2-16φ L=650
P4	[-150×75×6.5×10	BPL16×200×300 AB2-16φ L=650
P5	□-100×100×2.3	
P6	□-90×90×2.3	BPL12×150×200 AB2-16φ L=650
P7	□-150×100×2.3	BPL12×110×225 AB2-16φ L=650

凡　例	
記　号	内　容
(実線枠)	改築の範囲を示す
(破線枠)	既存のままの範囲を示す

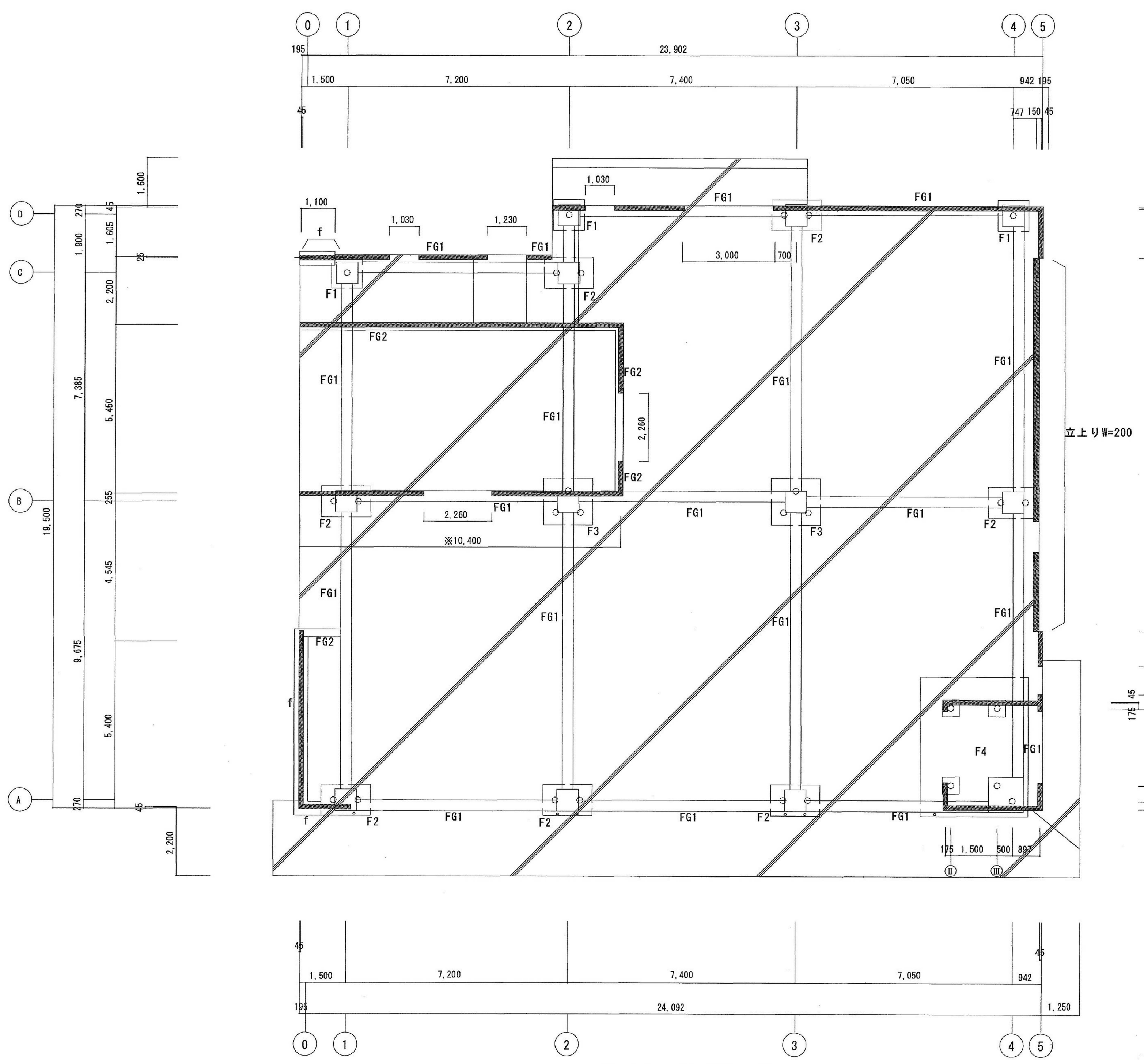
特記　1.鉄部の錆止め塗装はJIS-K5622（1種）とする
　　　2.外部露出となる鉄部　B7の錆止め塗装はエポローバルとする



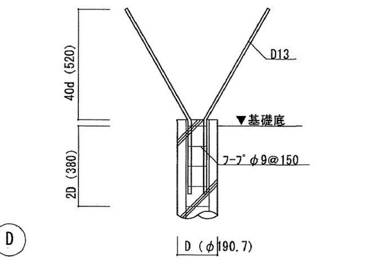
基礎詳細図　1/50



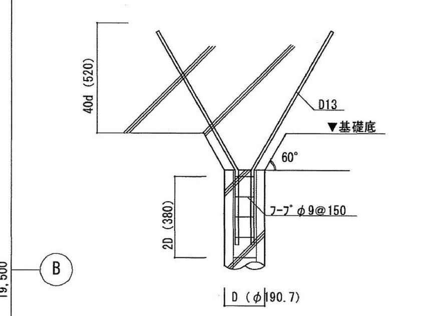
ホース乾燥棟基礎詳細図　1/50



基礎伏図　1/150



杭頭が所定の位置で止まった場合　S=1/10



杭頭が所定の位置より深く止まった場合　S=1/10

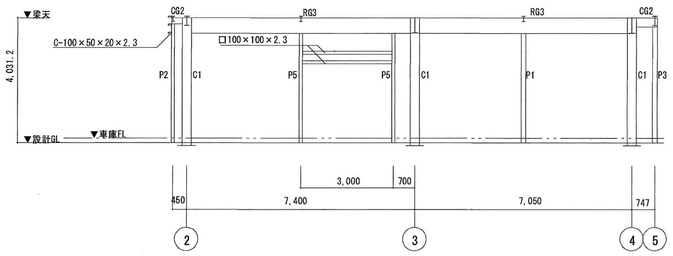
凡　例	
記号	内容
(斜線)	土間コンクリート・150　D13@200SC 砕石・100（再生砕石　RC40）
○	刃付鋼管杭（拡底板付ブレードパイル） φ190.7×6.0　L＝5,000　28本 回転圧入工法とする
(太線)	腰壁立上り（GL+750）部分を示す 立上りW150　特記ヶ所W200
◦	防護パイプ　φ89.1×4.2　H=1,100を示す

特記事項　※印寸法は特記あるも現場指示とする（内～内寸法10,200以上確保の上）

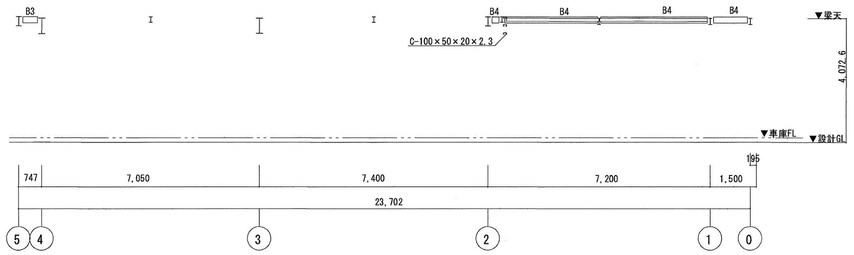
株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣（　　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署
		構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　　）	図名　車庫棟１ 参考図（１）

No.　Ｄ－１４

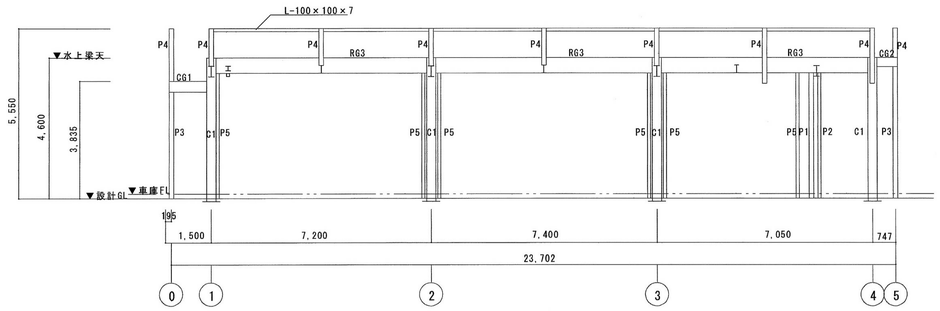
縮尺
A1：1/50、1/150
A3：1/100、1/300



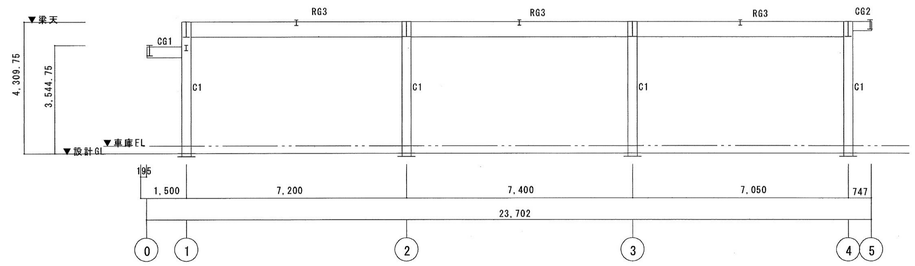
Ⓓ 通り軸組図 S=1/100



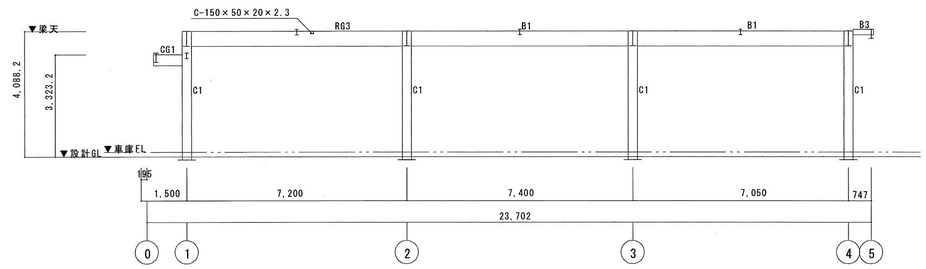
Ⓒ+ 520通り軸組図 S=1/100



Ⓐ 通り軸組図 S=1/100

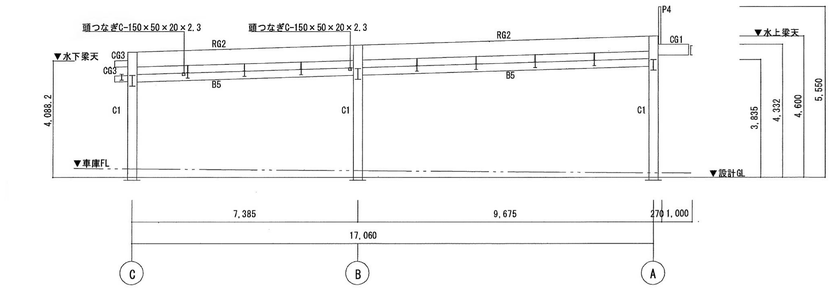


Ⓑ 通り軸組図 S=1/100

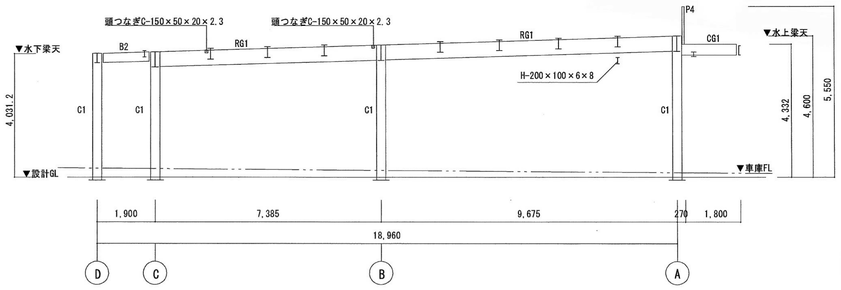


Ⓒ 通り軸組図 S=1/100

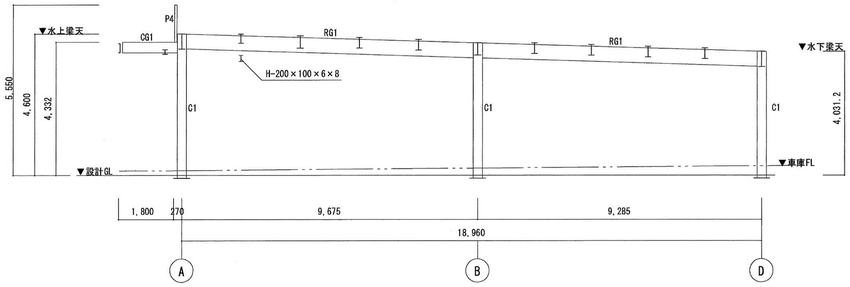
株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号			構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称	湖北地域消防本部 旧米原消防署	Ｎｏ． Ｄ－１５
				構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名	車庫棟１ 参考図（２）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200



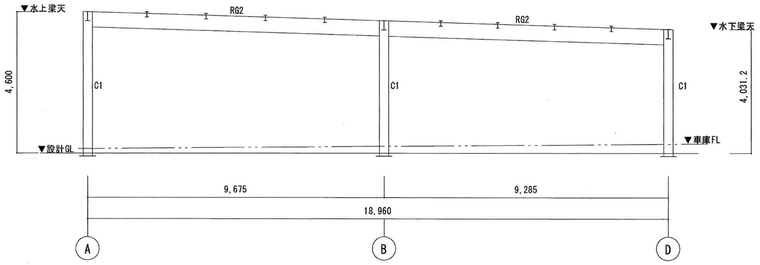
① 通り軸組図 S=1/100



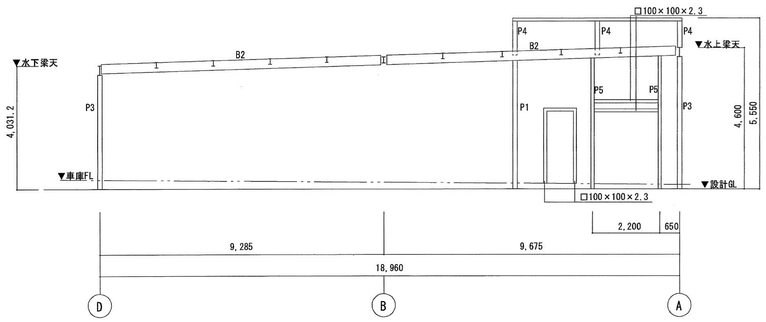
② 通り軸組図 S=1/100



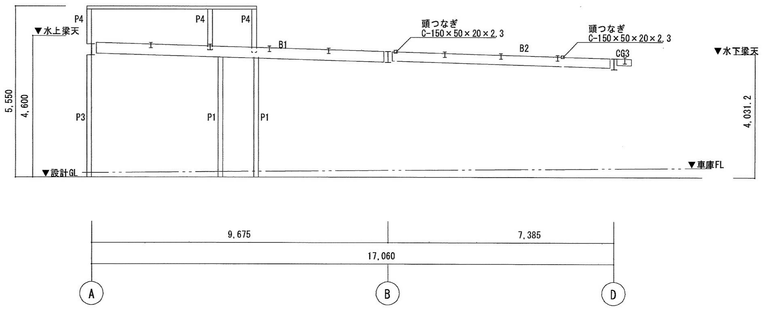
③ 通り軸組図 S=1/100



④ 通り軸組図 S=1/100

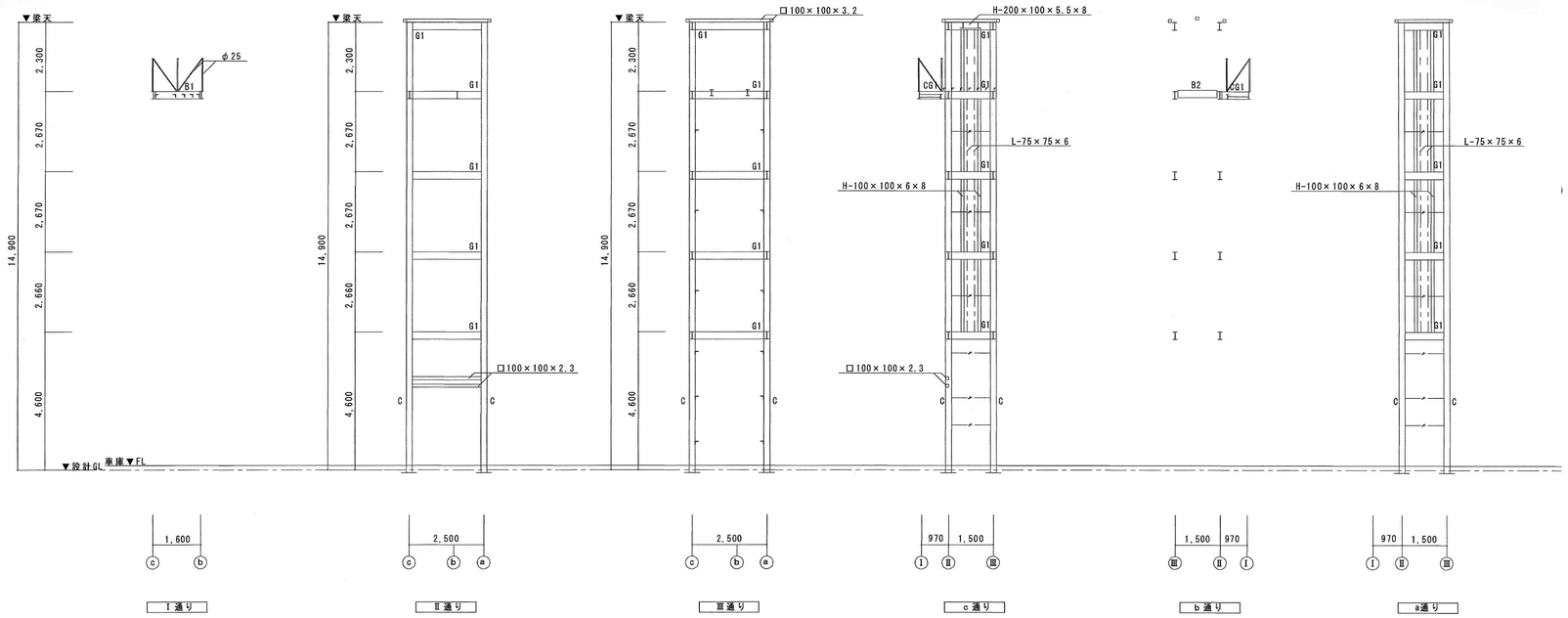


⑤ 通り軸組図 S=1/100

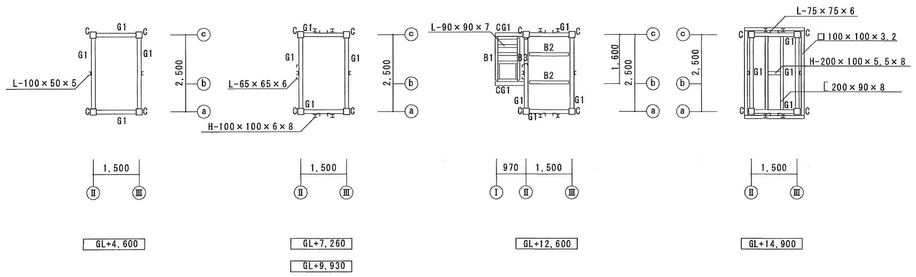


⑪通り軸組図 S=1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号			構造設計	一級建築士登録 大臣（ ）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（ ）	名称 湖北地域消防本部 旧米原消防署	No. D－16
				構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（ ）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（ ）	図名 車庫棟1 参考図（3）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200



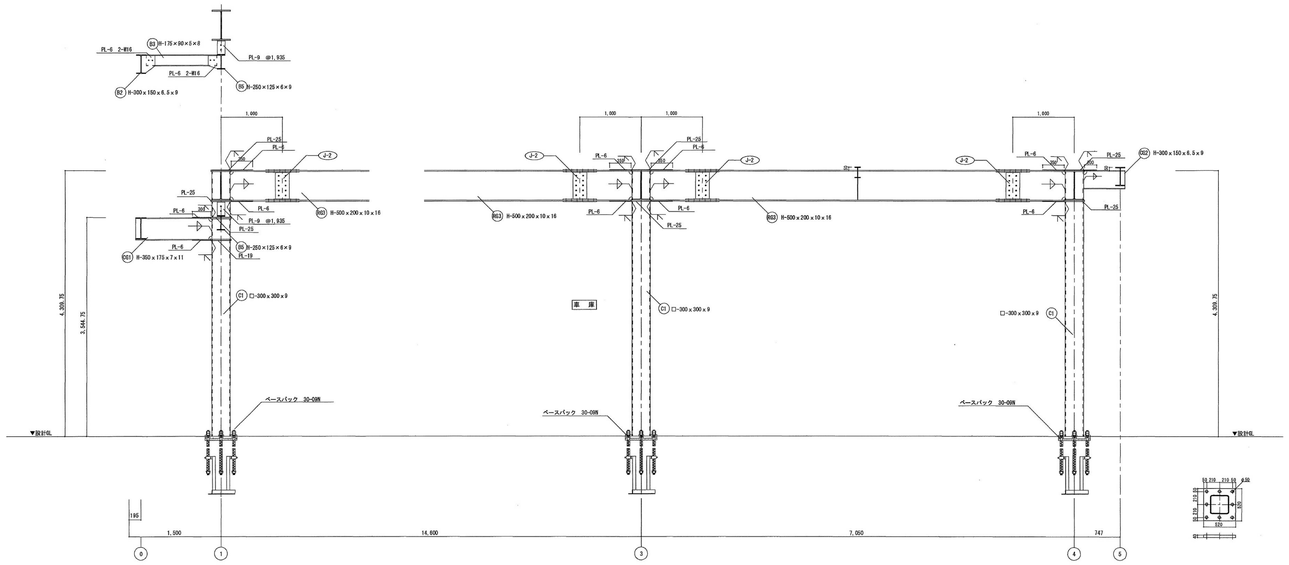
塔屋軸組図　S=1/100



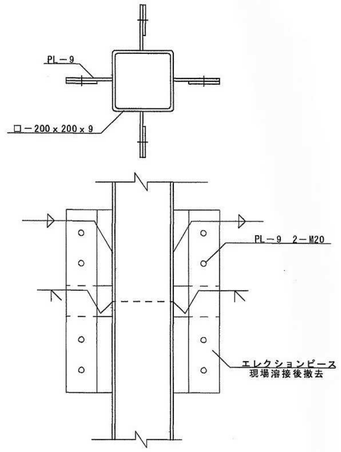
塔屋梁伏図　S=1/100

軸組図部材リスト		
G1	H-250×125×6×9	J-3
CG1	H-250×125×6×9	
B1	H-250×125×6×9	
B2	H-200×100×5.5×8	
B3	H-150×75×5×7	
C	□-200×200×9	
□	□-100×100×3.2（頭つなぎ）	
	□-100×100×2.3（ｼｬｯﾀｰｹｰｽ下地）	
—//—	L-100×100×7	
— — —	L-75×75×6	
═══	H-100×100×6×8	

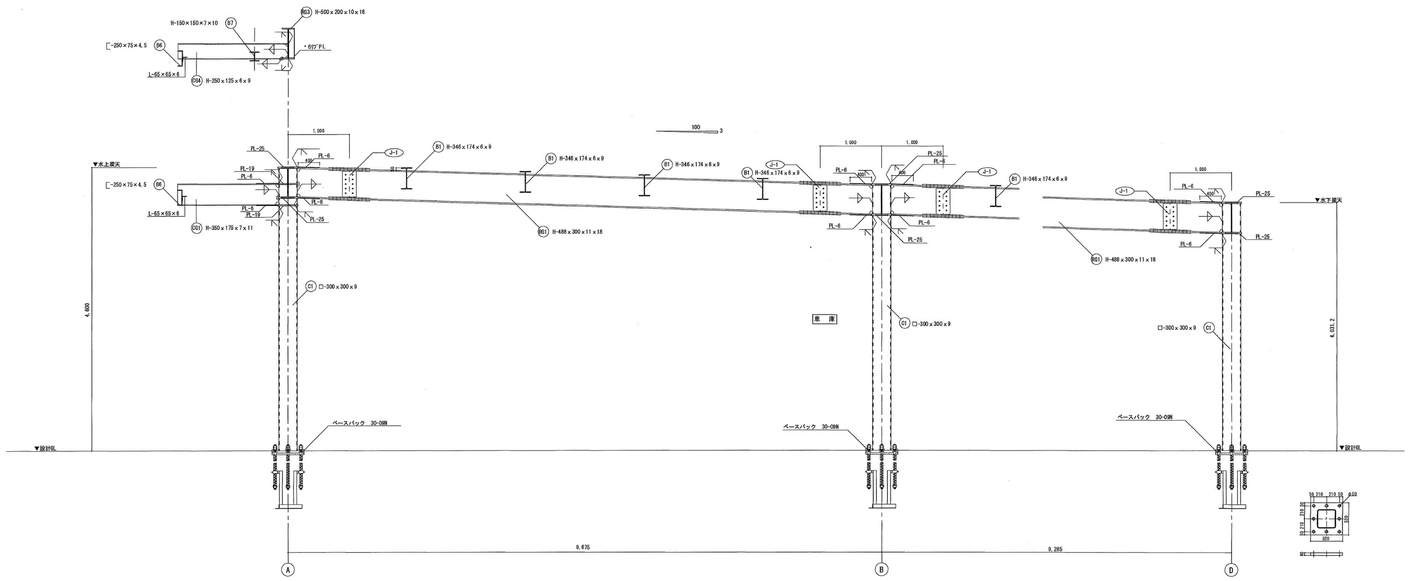
株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　） 構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称	湖北地域消防本部 旧米原消防署	Ｎｏ． Ｄ－１７
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　） 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名	車庫棟１ 参考図（４）	縮尺 A1：1/100 A3：1/200



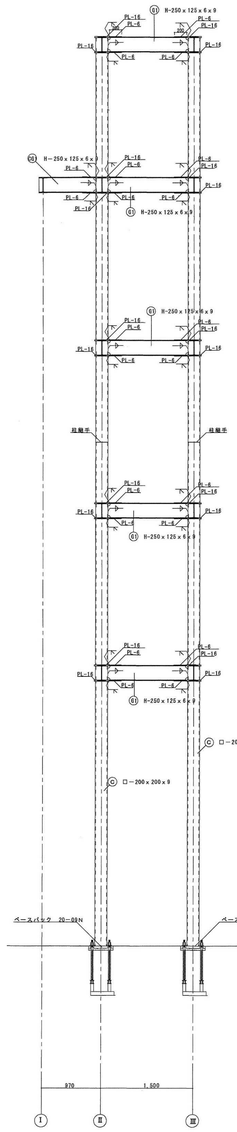
架構詳細図（1）　1/50



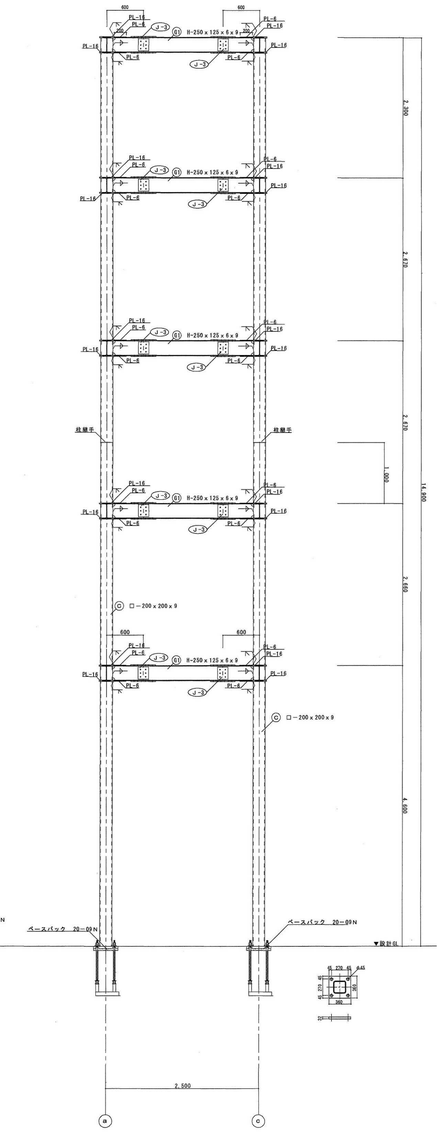
柱継手（溶接タイプ）詳細図　1/10



架構詳細図（2）　1/50



ホース乾燥塔架構詳細図（1）　1/50



ホース乾燥塔架構詳細図（2）　1/50

株式会社　丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋　晶一 一級建築士登録　第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	名称　湖北地域消防本部 旧米原消防署	Ｎｏ． Ｄ－１８
			構造/設備関係規定への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣（　　）	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号（　　）	図名　車庫棟１ 参考図（５）	縮尺 A1：1/10,1/50 A3：1/20,1/100

はり継手　　リスト　　鋼種　SS41　高力ボルト　F10T

符号	断面	Mpx(tcm)	有効断面係数 Zex(cm³)	フランジ 添え板	フランジ 高力ボルト	ウエブ 添え板	ウエブ 高力ボルト	Mux(tcm)	Mux/Mpx
	H-198x 99x4.5x 7	431	116	PL- 9x 99x285	2列- 4-M16	2PL- 6x165x140	1列-2-M16	564	1.31
	H-200x100x5.5x 8	503	132	PL-12x100x285	〃	〃	〃	756	1.50
	H-248x124x 5x 8	766	221	PL-12x124x405	2列- 6-M16	2PL- 6x165x200	1列-3-M16	1220	1.59
J－3	H-250x125x 6x 9	878	251	PL-12x125x405	〃	〃	〃	1240	1.41
	H-298x149x5.5x 8	1140	319	PL-12x149x345	2列- 4-M20	2PL- 6x205x240	1列-3-M20	1860	1.63
	H-300x150x6.5x 9	1300	362	PL-12x150x485	2列- 6-M20	〃	〃	1890	1.45
	H-346x174x 6x 9	1720	496	PL- 9x174x345 2PL- 9x 70x345	2列- 4-M20	〃	〃	2630	1.53
	H-350x175x 7x11	2080	601	PL- 9x175x345 2PL- 9x 70x345	〃	〃	〃	2640	1.27
	H-396x199x 7x11	2710	814	PL- 9x199x485 2PL- 9x 70x485	2列- 6-M20	2PL- 6x205x310	1列-4-M20	3960	1.46
	H-400x200x 8x13	3180	954	PL- 9x200x485 2PL-12x 70x485	〃	〃	〃	4460	1.40
	H-446x199x 8x12	3480	1030	PL- 9x199x485 2PL-12x 70x485	〃	2PL- 6x205x380	1列-5-M20	5060	1.45
	H-450x200x 9x14	4030	1190	PL-12x200x485 2PL-12x 70x485	〃	〃	〃	5110	1.27
	H-496x199x 9x14	4590	1370	PL-12x199x485 2PL-12x 70x485	〃	〃	〃	5600	1.22
J－2	H-500x200x 10x16	5220	1500	PL-12x200x545 2PL-16x 70x545	2列- 6-M22	2PL- 9x225x430	1列-5-M22	6890	1.32
	H-596x199x 10x15	6360	1860	PL-12x199x545 2PL-16x 70x545	〃	〃	〃	8140	1.28
	H-600x200x 11x17	7150	2080	PL-16x200x705 2PL-16x 70x705	2列- 8-M22	〃	〃	10100	1.41
	H-582x300x 12x17	9510	2980	PL-16x300x665 2PL-16x110x665	千鳥-10-M22	〃	〃	12800	1.35
	H-588x300x 12x20	10800	3370	PL-16x300x775 2PL-16x110x775	千鳥-12-M22	〃	〃	15300	1.42
	H-692x300x 13x20	13500	4120	PL-16x300x775 2PL-16x110x775	〃	2PL- 9x225x590	1列-7-M22	18300	1.36
	H-700x300x 13x24	15500	4760	PL-19x300x885 2PL-19x110x885	千鳥-14-M22	〃	〃	21300	1.37
	H-800x300x 14x26	19800	6050	PL-19x300x885 2PL-19x110x885	〃	2PL- 9x225x670	1列-8-M22	24400	1.23
	H-900x300x 16x28	25100	7560	PL-22x300x995 2PL-22x110x995	千鳥-16-M22	2PL-12x225x750	1列-9-M22	31200	1.24
J－1	H-488x300x 11x18			PL-16x300x665 2PL-16x110x665	千鳥-10-M22	2PL- 9x225x420	1列-5-M22		